

レストパルフ

I型 床排水・壁排水

手洗器あり／すっきり収納タイプ(UWFCB/UWFGB)

手洗器なし／まるごと収納タイプ(UWFDA/UWFHA)

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

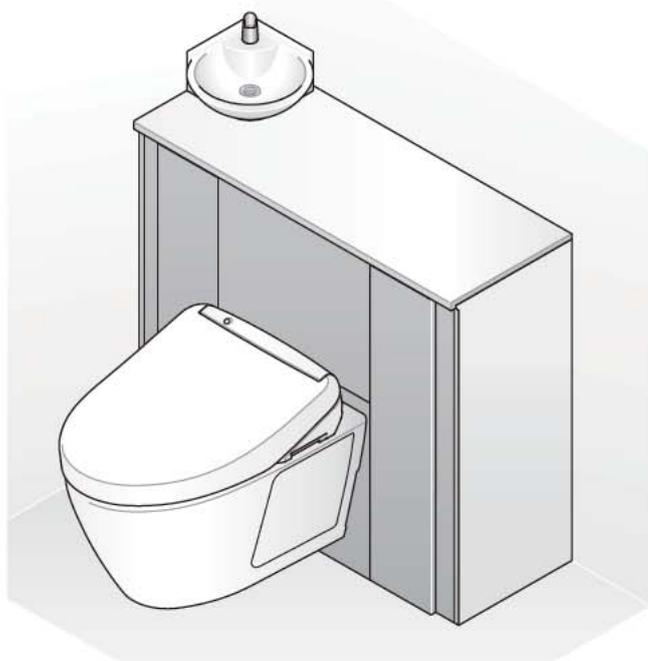
取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

本書は手洗器あり左勝手を基準に説明しております。本書に記載の寸法の単位はmmです。

本書とあわせて、各部材に付属の説明書やチラシをご確認のうえ、正しく取り付けてください。



商品タイプの確認 2



情報編 3

- | | |
|------------|----|
| 1. 安全上のご注意 | 4 |
| 2. 取付前のご注意 | 6 |
| 3. 部品の確認 | 16 |

手順編 21

動画を見る

施工の流れ

当社のウェブサイトから、施工動画をご確認いただけます。

※通信料がかかります。

※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。



工事店様へ

□ 試運転で必ず実施してください。

便器洗浄をして水たまり面が低下する場合

➡ P47を参照

排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

※低下すると汚物付着の原因になります。

水たまり面が低下した場合は、設定変更にて対応してください。

自治体によって洗浄水量の規制がある場合

➡ P48を参照

□ 取扱説明書の最終ページの保証書に、必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡ししてください。

お渡しできない場合は、目立つ場所に置いてください。

□ 取付後、ウォシュレットの機能、使いかたなどについてお客様にご説明をお願いいたします。

□ 新築などでお客様に引渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。

商品タイプの確認

商品タイプにより施工手順が異なります。

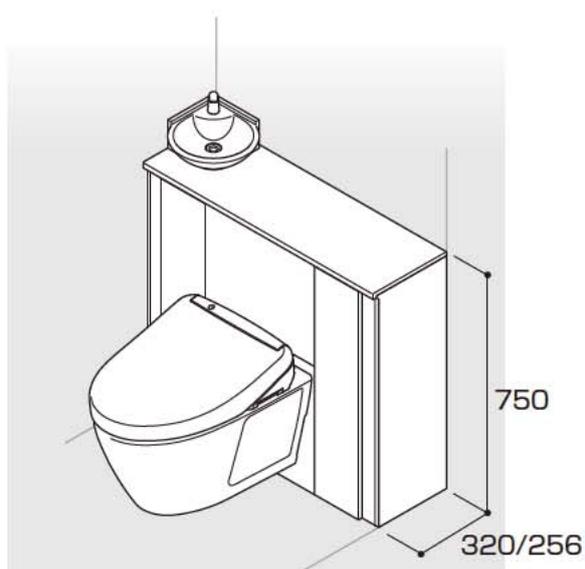
お施主様のお宅は、どのタイプですか？

手洗器タイプ

手洗器あり

すっきり収納タイプ

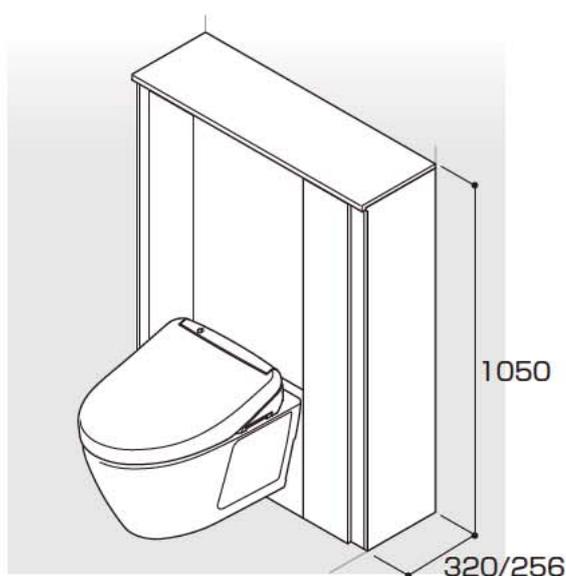
品番:UWFCB~(キャビネット奥行き 320)
UWFGB~(キャビネット奥行き 256)



手洗器なし

まるごと収納タイプ

品番:UWFDA~(キャビネット奥行き 320)
UWFHA~(キャビネット奥行き 256)

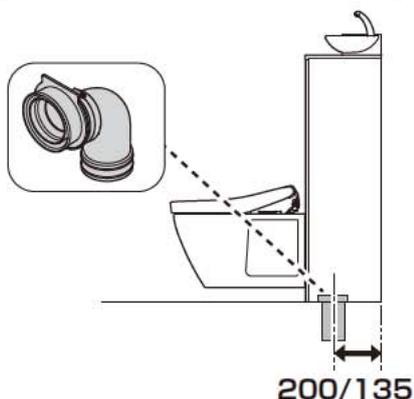


給排水タイプ

床排水 (排水心 200mm/135mm)

給水新設

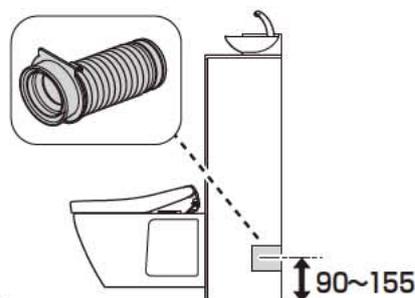
既存給水流用(リモデル用)



壁排水 後ろ抜き

給水新設

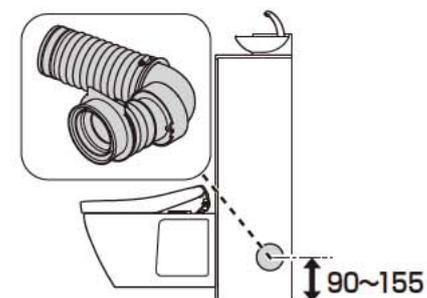
既存給水流用(リモデル用)



壁排水 左右抜き

給水新設

既存給水流用(リモデル用)



情報編

1. 安全上のご注意 ▶ 4

2. 取付前のご注意 ▶ 6

1	設置寸法	6
2	キャビネット扉の開閉範囲	7
3	排水位置	7
4	寒冷地・水抜方式の場合の水抜栓位置(床排水タイプのみ)	9
5	給水位置	9
6	補強材位置	11
7	電気配線	13
8	幅木	14
9	窓枠など	15
10	必要工具	15
11	壁裏補強材なしの場合のオプション品	15

3. 部品の確認 ▶ 16

1.安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

お取付前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

●表示と意味はつぎのようになっています。

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。



警告

誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



してはいけない「禁止」の内容です。



注意

誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害※の発生が想定される」内容です。



必ず実行していただく「強制」の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

 分解禁止	修理技術者以外の人には絶対に分解したり、修理・改造は行わない 火災や感電の原因となります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となります。
	 アース接続		アース(D種接地)工事がされていることを確認する アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電の原因となります。 アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。
 警告	 禁止	指定する電源(交流100V)以外では使用しない 火災の原因となります。	電源プラグやコードが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいまま使用しない 火災や感電の原因となります。
		電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。	ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因となります。
		屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所に取り付けけない 取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがやときに死亡の原因となります。	給水および排水管の真下部にコンセントを設置しない 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。
		雷が発生しているときは、電源プラグに触れない 感電の原因となります。	器具取付用のねじ固定部の壁裏には、配管・配線を通さない 火災や感電の原因となります。 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
		ウォシュレットの給水ホースをコンセントに接触させない 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
		電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因となります。	壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏を補強する 商品の転倒、落下によりけがやときに死亡の原因となります。
 必ず守る	コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に記載された位置・方法・注意事項を厳守する 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因となります。	
	取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用プラグ(現場手配)を使用する 取り付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。	工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する 商品が落下したり、外れたりしてけがやときに死亡の原因となります。	

 <p>警告</p>	 <p>必ず守る</p>	<p>石こうボードの場合は指定のボードアンカーを使用する 取り付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。</p>	<p>機器の設置は専門業者が行う また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者(電気工事士)が行う 火災や感電の原因となります。水漏れして、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 商品の破損や落下によりけがをすおそれがあります。</p>
		<p>商品を取り付ける柱・間柱は、腐食などで強度不足でないことを確認する 取付物の転倒・落下によりけがやときに死亡の原因となります。</p>	<p>コンセントは水や小水がかからない位置に設置する コンセントに水がかかり、感電・発火の原因となります。</p>
 <p>注意</p>	 <p>禁止</p>	<p>水道水および飲用可能な井戸水・地下水以外 は使用しない 皮膚の炎症などを起こす原因となります。</p>	<p>給水ホースが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 給水ホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>
		<p>止水栓を開けたままで給水フィルターを外さない 水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>	<p>商品に強い力や衝撃を与えない 商品の破損や落下によりけがをすおそれがあります。 水漏れして、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>
	 <p>必ず守る</p>	<p>給水フィルター・給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは接続部やフィルターふたを確実に締める 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p> <p>※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。</p>	<p>カウンターの上に乗って作業しない カウンターが破損したり落下したりして、けがの原因となります。</p>
		<p>設置工事に使用する部材は必ず付属部品および指定部品を使用する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>	<p>給水・排水接続に関する作業は、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>
		<p>工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>	<p>給水ホースと分岐金具を正しく接続する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>
		<p>カットした面は滑らかに仕上げる 滑らかに仕上げないとお客様の手が触れ、けがをす原因となります。</p>	<p>ねじ部の固定については、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する 商品が破損し、けがをす原因となります。</p>
		<p>商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する 商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。</p>	<p>水平器を用いて水平に設置する 収納物が落下してけがの原因となります。</p>
		<p>商品の壁への固定が完了するまで、もたれたり物を載せたりしないよう十分注意する 商品が倒れたり落下してけがの原因となります。</p>	<p>手洗器等、器具周囲のすき間処理は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する 水が浸入し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>
		<p>推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。</p>	<p>便器の水たまり部を見て、封水が切れていないことを確認する 封水が切れている場合に下水ガスや塩素ガス、硫化水素などによって設備・機器が腐食し、物的損害・傷害の生じるおそれがあります。</p>
		<p>凍結のおそれがある地域では、凍結防止工事を行う 凍結すると器具の一部が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>	
<p>電源コードは指定された機器以外に使用しない 機器故障の原因となります。</p>			

2.取付前のご注意

施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようにしてください。
金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。

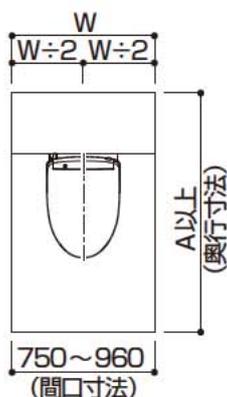
取付前の確認

- ① 取り付けに必要なトイレスペースを確保する
▶P.6「設置寸法」参照
 - ② 給水取出位置・排水管位置およびコンセント位置が所定の位置であることを確認する
※ウォシュレット用電源コードの長さは約1mです。
コンセントはこの長さに適した所定の位置に設置しているか確認してください。
 - ③ 給水条件
最低必要水圧：0.05MPa(流動時)
最高水圧：0.75MPa(静止時)
給水温度：40℃以下
この圧力範囲で使用してください。
 - ④ 手洗器の給水金具の取り付けに際しては、専用工具(TZ15LまたはTZY15N)が必要
 - ⑤ キャビネットの表面に指定のクッション材・ラベル以外は張らない
 - ⑥ ボードアンカーは、引抜強度200N以上の物を使用して、正しい施工方法で取り付ける
 - ⑦ 便器を防火区画貫通部より1m以内に設置の場合は、事前に所轄消防署に確認し、その指示に従う
- 参照** 「水漏れ確認」は、本説明書を参照してください。
「ウォシュレットへの通電」はウォシュレット施工説明書を参照してください。

1 設置寸法

トイレの広さは以下の寸法を確保してください。間口750mm未満には対応できません。

間口750~960mm

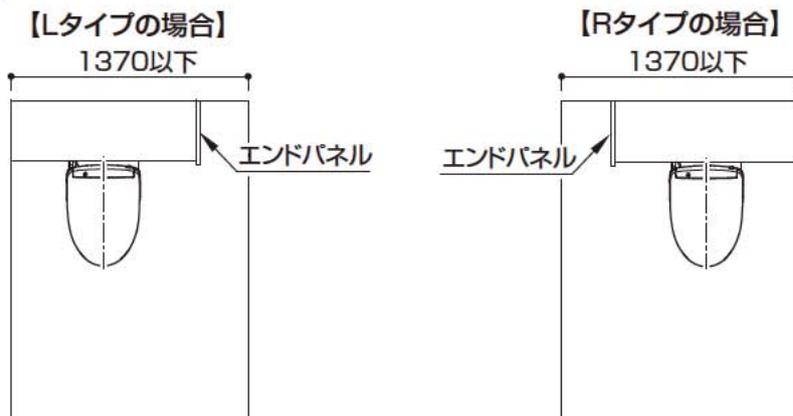


※ 排水タイプ、排水立上位置によって便器前出寸法が異なるため設置できるトイレの寸法が異なります。

タイプ	A
床排水200	1270
床排水135・壁排水	1210

エンドパネルを使用する場合

- ・ エンドパネルを利用して、壁とすき間をあけて設置することもできます。
- ・ 手洗器側(手洗器ありの場合)、排水抜き方向側(壁排水の場合)は、取り付けできません。
- ・ 両側設置はできません。

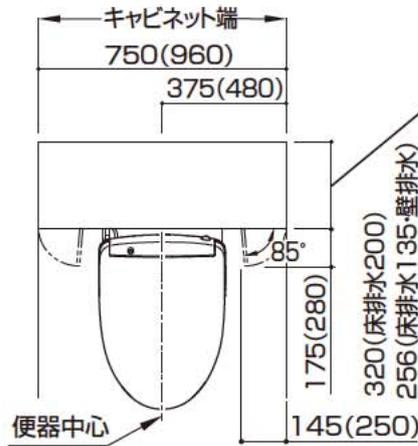


2 キャビネット扉の開閉範囲

- ・大便器キャビネットの扉は、下図の範囲で開閉します。
- ・開閉範囲内に障がい物がないことを確認してください。

大便器キャビネット

図は間口750mm・960mmで表記
()内は間口960mmの場合

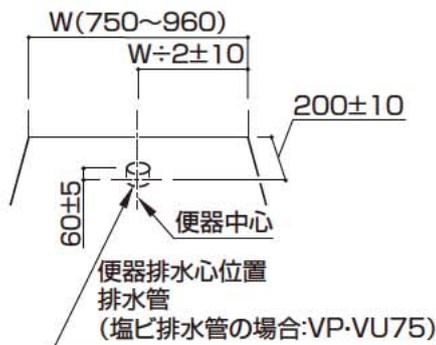


3 排水位置

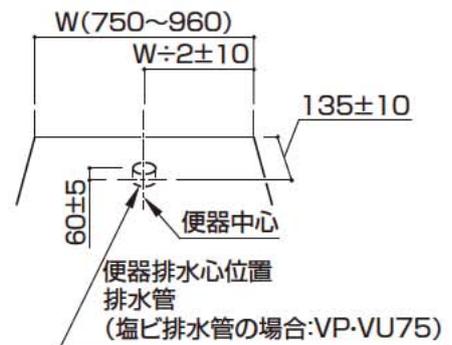
床排水タイプ

- ・下図の位置に便器の排水心があることを確認してください。
- ・VP・VU75（塩ビ排水管）は床から 60 ± 5 mm で立ち上げてください。
- ・VP・VU100（塩ビ排水管）には接続できません。

排水心200の場合



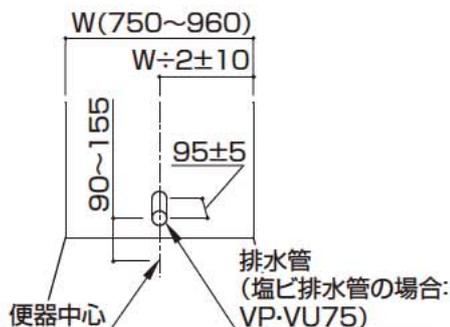
排水心135の場合



壁排水タイプ

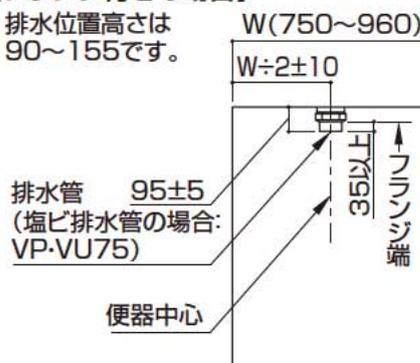
- ・ 下図の位置に便器の排水管位置があることを確認してください。
- ・ 排水勾配は必ず1/50以上確保してください。
- ・ 便器と排水管はジャバラ管(材質:軟質塩ビ)での接続となります。
- ・ VP・VU100(塩ビ排水管)には接続できません。

後ろ抜きの場合

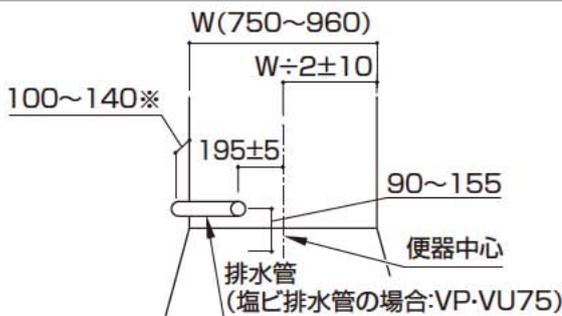


【フランジ付きの場合】

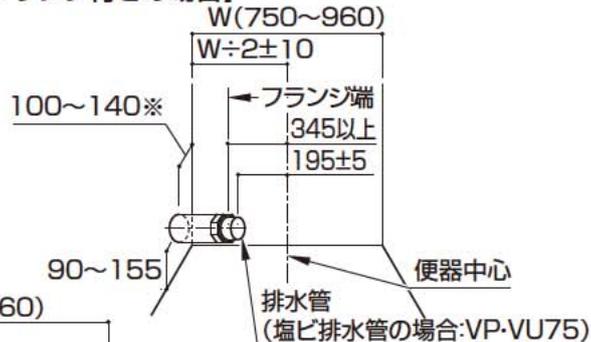
排水位置高さは
90~155です。



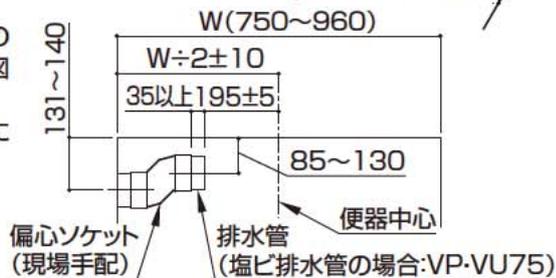
左抜きの場合



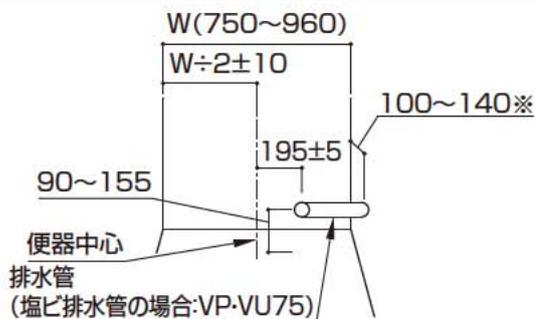
【フランジ付きの場合】



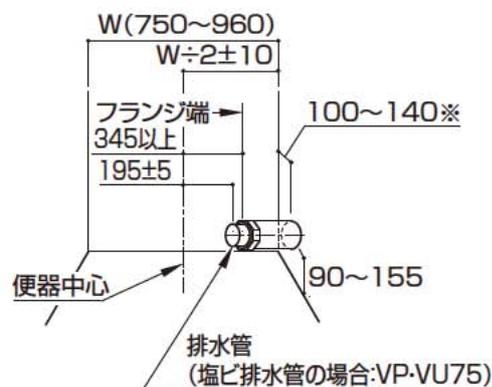
※排水位置が後壁から131~140の
場合は、別途偏心ソケットを手配し右図
の位置に立ち上げてください。
偏心ソケットは逆勾配にならないよう
に取り付けてください。



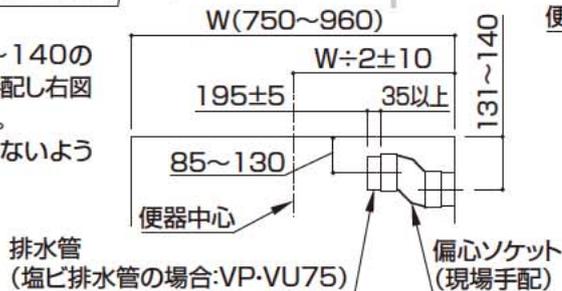
右抜きの場合



【フランジ付きの場合】



※排水位置が後壁から131~140の
場合は、別途偏心ソケットを手配し右図
の位置に立ち上げてください。
偏心ソケットは逆勾配にならないよう
に取り付けてください。



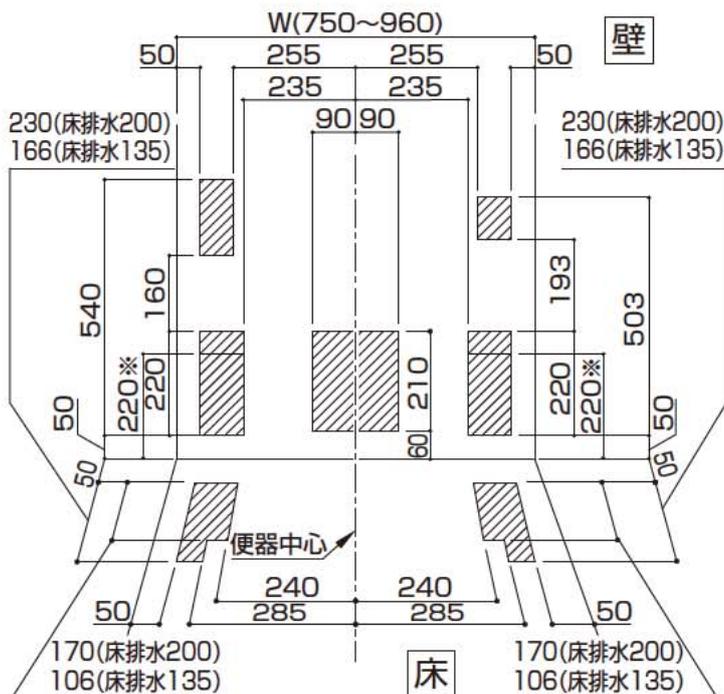
既存給水流用の場合

- ・下図の領域内が対応範囲となります。対応範囲内に給水管 (Rc1/2) の中心があることを確認してください。仕上げ面と同一面に給水管を取り出してください。
- ・手洗器が左右勝手とも対応範囲が共通です。

床排水タイプ

【一般地・流動方式の場合】

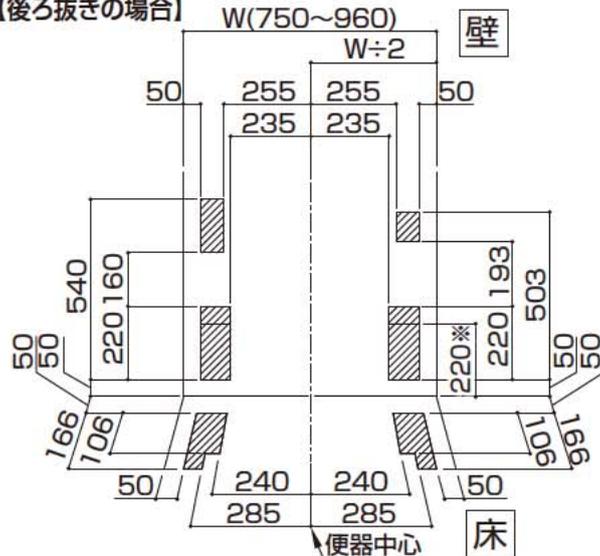
- ・給水位置が便器中心より右側の場合は、延長ホース (UGTN98L2X50R) を別途手配してください。
- ※印より上に給水位置がある場合は、棚板が取り付けられません。



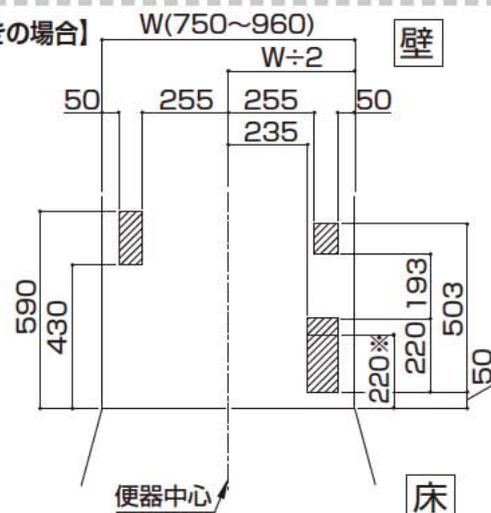
壁排水タイプ

- ・給水位置が便器中心より右側の場合は延長ホース (UGTN98L2X50R) を別途手配してください。
- ※印より上に給水位置がある場合は、棚板が取り付けられません。

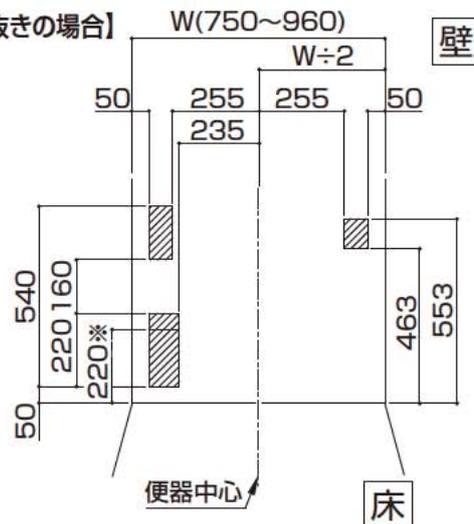
【後ろ抜きの場合】



【左抜きの場合】

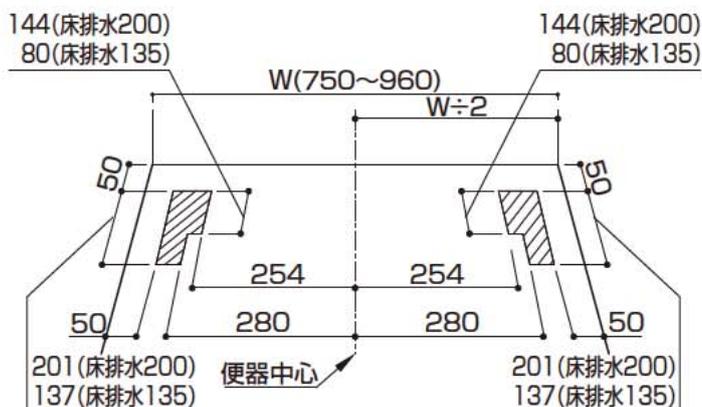


【右抜きの場合】



【水抜方式の場合】

- ・給水位置が便器中心より右側の場合は、延長ホース (TN98L2X30) および給水アダプター (TN48) を別途手配してください。



6 補強材位置(必ず入れる)

ねじ位置については下記URL内の「ねじ位置情報」をご覧ください。
 [URL]
<https://search.toto.jp/contents/navi/construction/wi/default.htm>

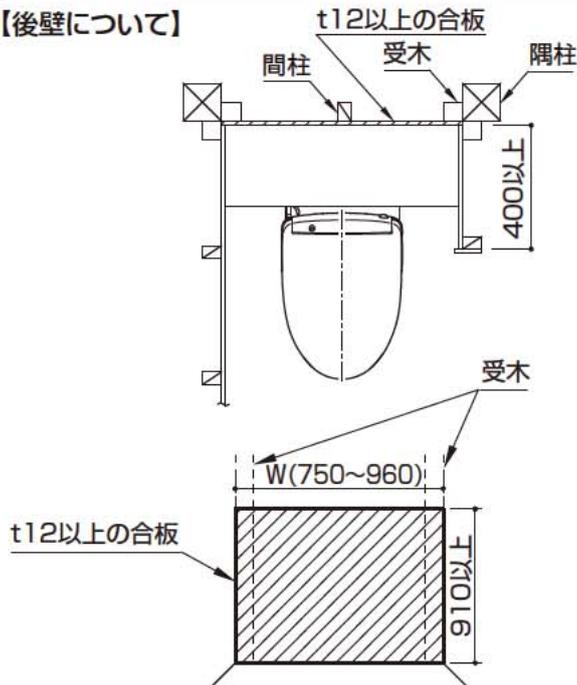


大便器キャビネット部

- ・施工にあたっては、下記以上の強度の補強を必ず施してください。
- ・周辺部材を設置する場合は取付面にt12以上の合板(JAS規格相当品)を入れてください。
- ・合板は間柱および受木に確実に固定してください。
- ・木材や建築部材が腐食などで強度不足でないことをご確認ください。
- ・間柱および受木は、奥行き45mm×幅36mm以上の物を、ピッチ455mm以下で入れてください。
 根太は高さ45mm×幅36mm以上の物を、ピッチ303mm以下で入れてください。
 また、束などによる支持を、ピッチ910mm以下で入れてください。

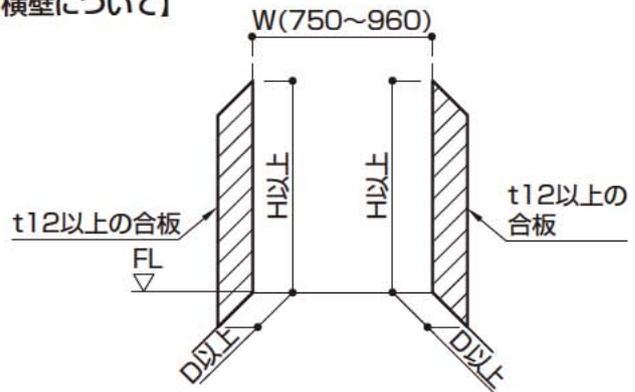
間口750~960mm

【後壁について】



- ・後壁と横壁が、受木/隅柱などを介し、連結されていることを確認してください。
- ・上図の斜線範囲(壁裏)に、t12以上の合板(JAS規格相当品)を必ず入れてください。
- ・横壁に扉がつく場合でも、後壁から400mmは壁を設置してください。
- ※ 軽量鉄骨(LGS)の場合も同様です。

【横壁について】

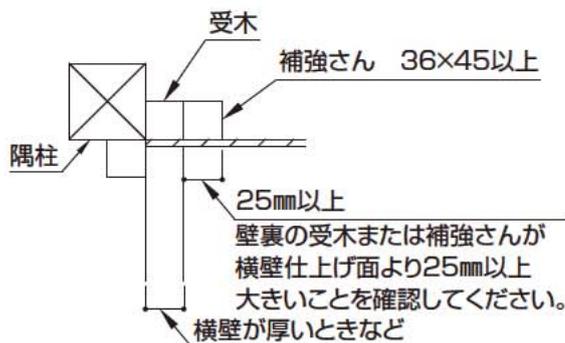


タイプ	排水タイプ	H	D
まるごと収納	床排水200	1050	290
	床排水135・壁排水	1050	225
すっきり収納	床排水200	760	290
	床排水135・壁排水	760	225

- ・上図の斜線範囲(壁裏)にt12以上の合板(JAS規格相当品)を入れてください。
- ・壁裏補強なしで施工をする場合は、ボードアンカー(オプション:UGA490A)を使用してください。

【設置寸法の両端に受木がない場合】

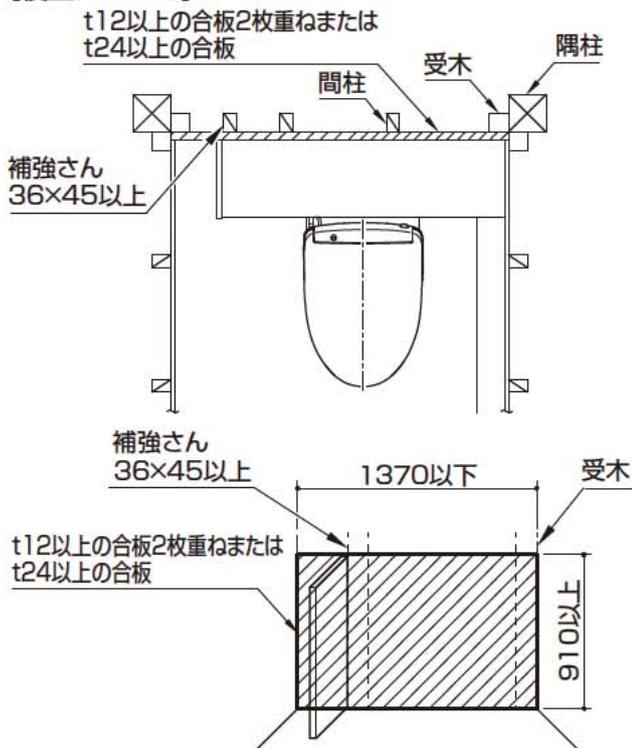
- ・必要に応じて補強さんを追加してください。
- ・補強さんは上下端を固定してください。または間柱や受木に横打ちしてください。



- ・ねじ位置詳細図とあわせてご確認ください。

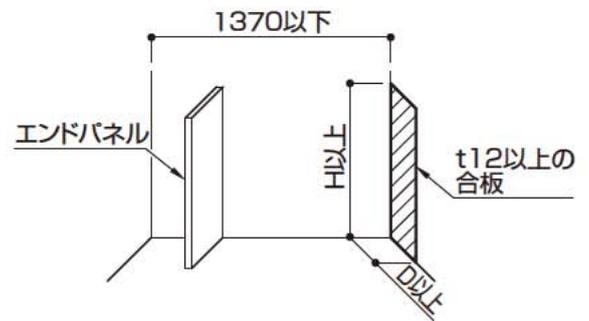
エンドパネルを使用する場合（間口1370mm以下）

【後壁について】



- ・エンドパネルを使用する場合、間口は1370mm以下としてください。
- ・上図の斜線範囲（壁裏）に、t12以上の合板（JAS規格相当品）を2枚重ね、または、t24以上の合板（JAS規格相当品）を必ず入れてください。

【横壁について】



タイプ	排水タイプ	H	D
まるごと収納	床排水200	1050	290
	床排水135・壁排水	1050	225
すっきり収納	床排水200	760	290
	床排水135・壁排水	760	225

- ・エンドパネルと反対側の横壁（上図の斜線範囲の壁裏）に、t12以上の合板（JAS規格相当品）を入れてください。
- ・壁裏補強なしで施工をする場合は、ボードアンカー（オプション:UGA490A）を使用してください。

※上図はRタイプのエンドパネルです。Lタイプの場合は逆勝手となります。

7 電気配線

定格消費電力は右表を参照してください。
(AC100V 50/60Hz共通です。)

定格消費電力	ウォシュレット			ヒーター付セットタンク (水抜方式)	便器下照明
		1278W (F1A,F2A)	1279W (F3A)	1281W (F3AW)	2W

コンセント設置位置

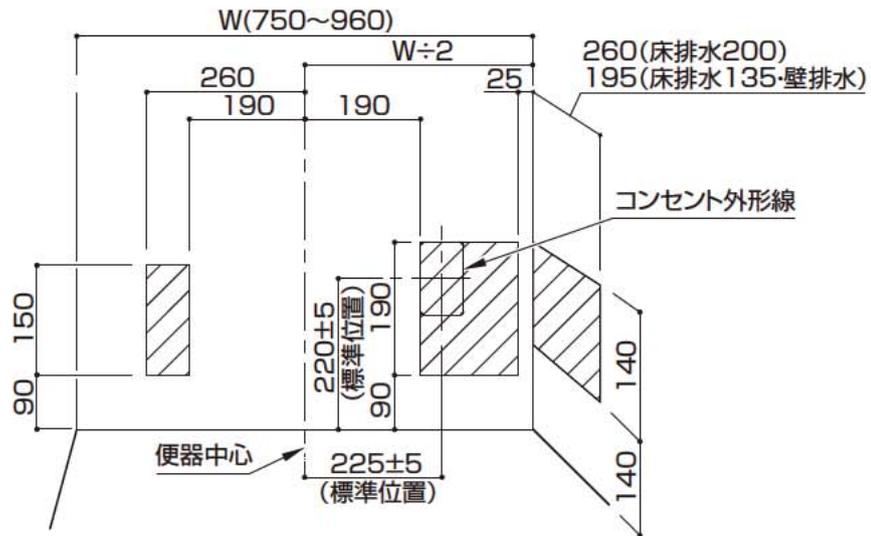
・排水管、水栓の仕様条件から、下表の該当するコンセント位置を確認してください。

	床排水の場合	壁排水の場合		
		後ろ抜き	左抜き	右抜き
一般地・流動方式	①	①	②	③
水抜方式	④※	-	-	-

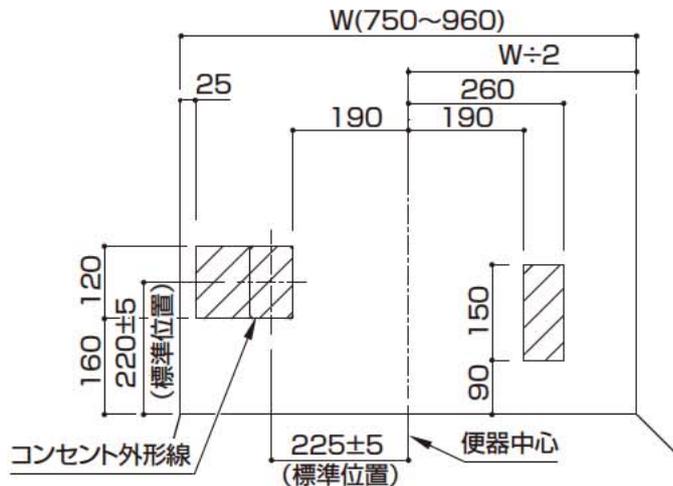
※コンセントを2カ所設置してください。

- ・コンセントは接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式2口コンセントを設置してください。
- ・既存のコンセントを使用する場合は、下図の斜線範囲内にコンセントの外形が納まることを確認してください。
- ・新規に設置する場合は、下図の「標準位置」に設置してください。
- ・向かって右側にエンドパネルを使用する場合は、横壁のコンセントは使用できません。
- ・コンセントは付属品として同梱されておりませんので、現場にて手配してください。
- ・コンセントは給水管の下にならない位置に設置してください。

①一般地・流動方式(床排水)/一般地(後ろ抜き)の場合



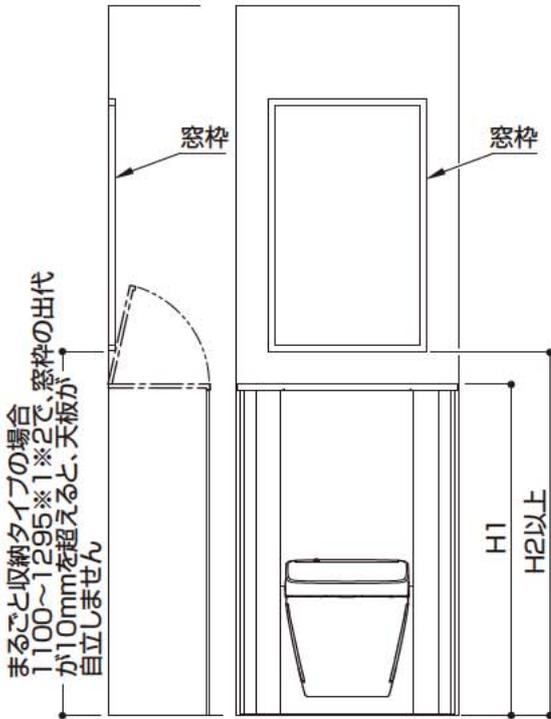
②一般地(左抜き)の場合



9 窓枠など

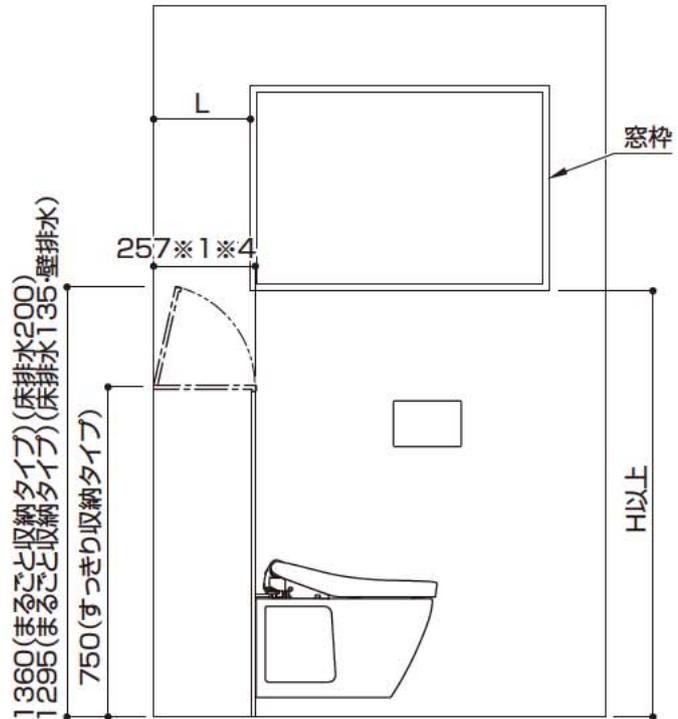
- ・周辺部材(鏡・手すりなど)を取り付ける場合は、周辺部材の説明書を参照してください。
- ・壁に窓枠や腰壁の見切りなどの突起物などがある場合、下図のような制約が付きます。事前に商品と干渉しないよう窓枠や腰壁の見切りなどの位置を設定してください。

大便器後壁に窓がある場合



タイプ	H1	H2
手洗器あり(すっきり収納タイプ)※3	750	880
手洗器なし(まるごと収納タイプ)	1050	1100

大便器横壁に窓がある場合



タイプ	床排水200		床排水135・壁排水	
	L=365以上	L=365未満	L=300以上	L=300未満
手洗器あり(すっきり収納タイプ)※3	—	880	—	880
手洗器なし(まるごと収納タイプ)	—	1395	—	1330

図はまるごと収納タイプの天板の開き方を示しています。

- ※1 床排水135・壁排水の場合 ※3 手洗器あり(すっきり収納タイプ)の場合、天板は開きません。
- ※2 床排水200の場合は1360 ※4 床排水200の場合は321

10 必要工具

※一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具を用意してください。



電動ドライバー
・#2ビット(65mm・200mm)
・#3ビット(200mm)



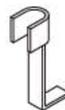
のこぎり



電動ドリル
φ3、φ4.5、φ5、φ9



カッター



TZ工具
(品番:TZY15N
またはTZ15L)
(手洗器ありの場合)



水平器



ドライバー
#2ビット
(65mm・200mm)



スタビードライバー
#2ビット



ドライバー
(給水フィルター清掃用)

11 壁裏補強材なしの場合のオプション品



ボードアンカー
(品番:UGA490A 20個入)

※タイプ・現場状況により必要数量が異なります。

3. 部品の確認

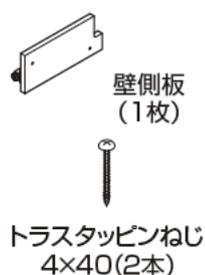
- ・専用の施工説明書が同梱されている商品は、外装箱のみ表記しています。
- ・包装箱の内容はまるごと収納タイプ(左勝手)を基本として記載しています。

コアキャビネットセット

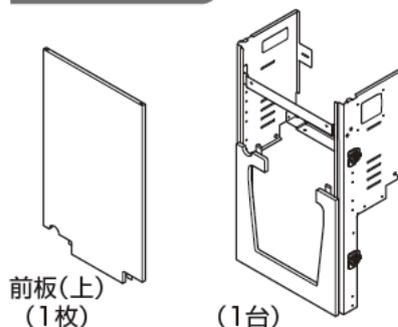
壁側板セット(左)



壁側板セット(右)



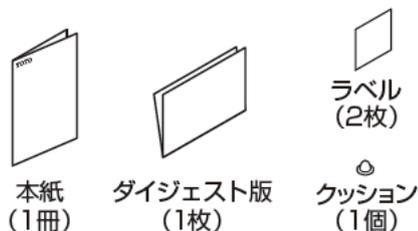
コアキャビネット



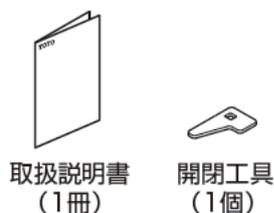
引き出しラック



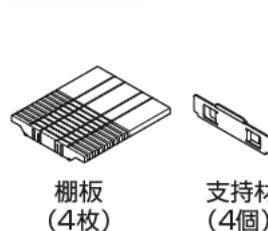
施工説明書



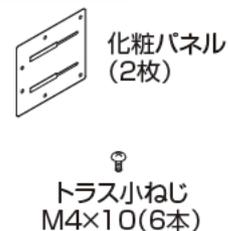
取扱説明書



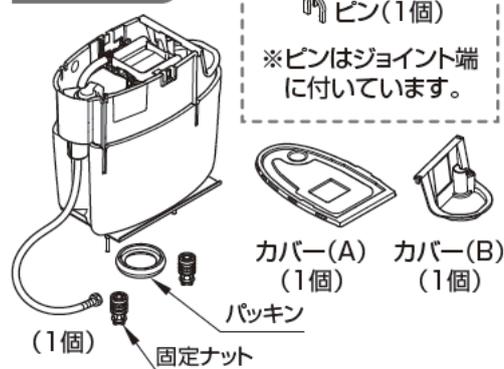
棚板セット



化粧パネル



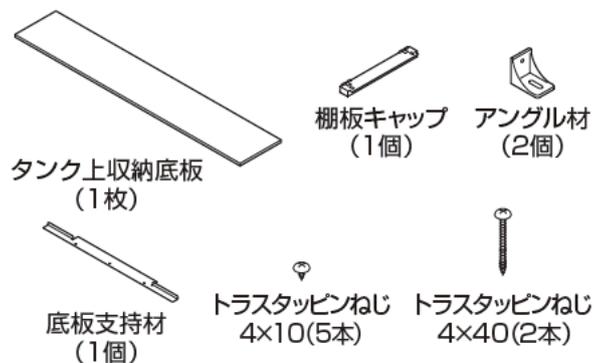
セットタンク



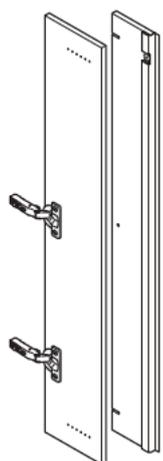
【流動方式の場合】



タンク上収納底板セット(まるごと収納タイプの場合)



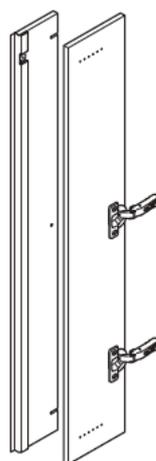
左扉セット



扉(1セット)

トラスタッピンねじ 4×20 (3本)
※1本は「手順編 17.仕上げ」で使用します。

右扉セット



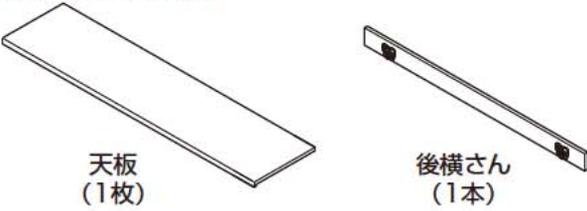
扉(1セット)

トラスタッピンねじ 4×20 (3本)
※1本は「手順編 17.仕上げ」で使用します。

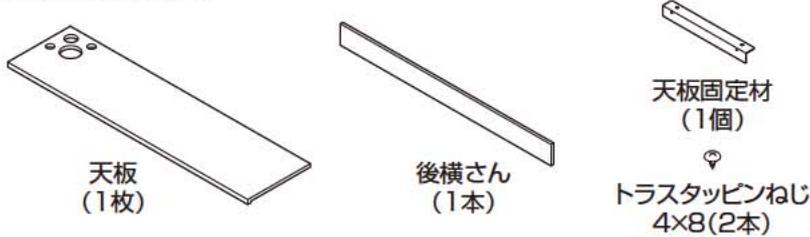
コアキャビネットセット (つづき)

天板セット

【手洗器なしの場合】



【手洗器ありの場合】

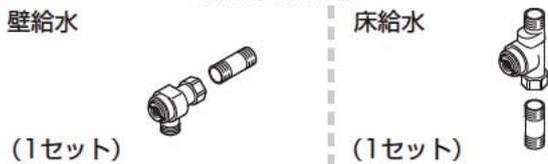


その他部材の詰めあわせ

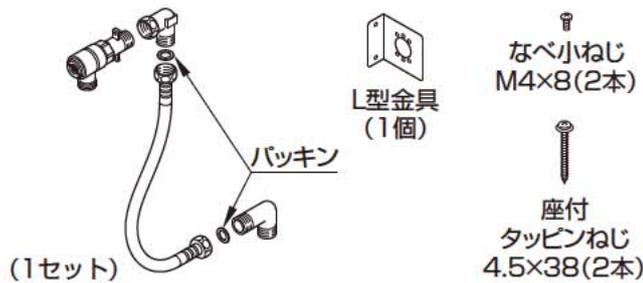
止水栓

※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。

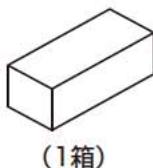
【給水新設用】



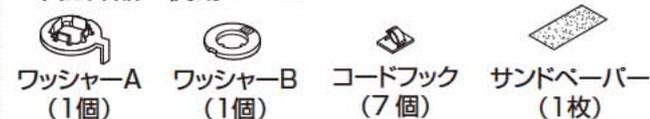
【既存給水流用】 ※水抜方式の場合は【床給水】を使用します。



便器洗浄ユニット



<下記部品は使用しません>

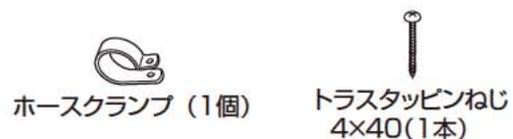


コアキャビネット付属部材セット



ホースクランプセット

【水抜方式の場合】

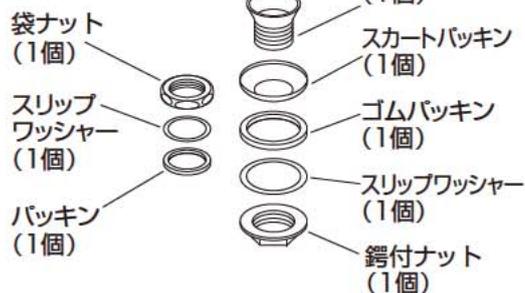


その他部材の詰めあわせ (つづき)

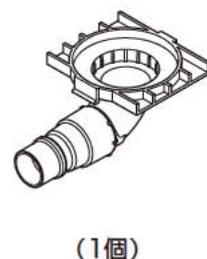
大便器排水接続管



スパッド



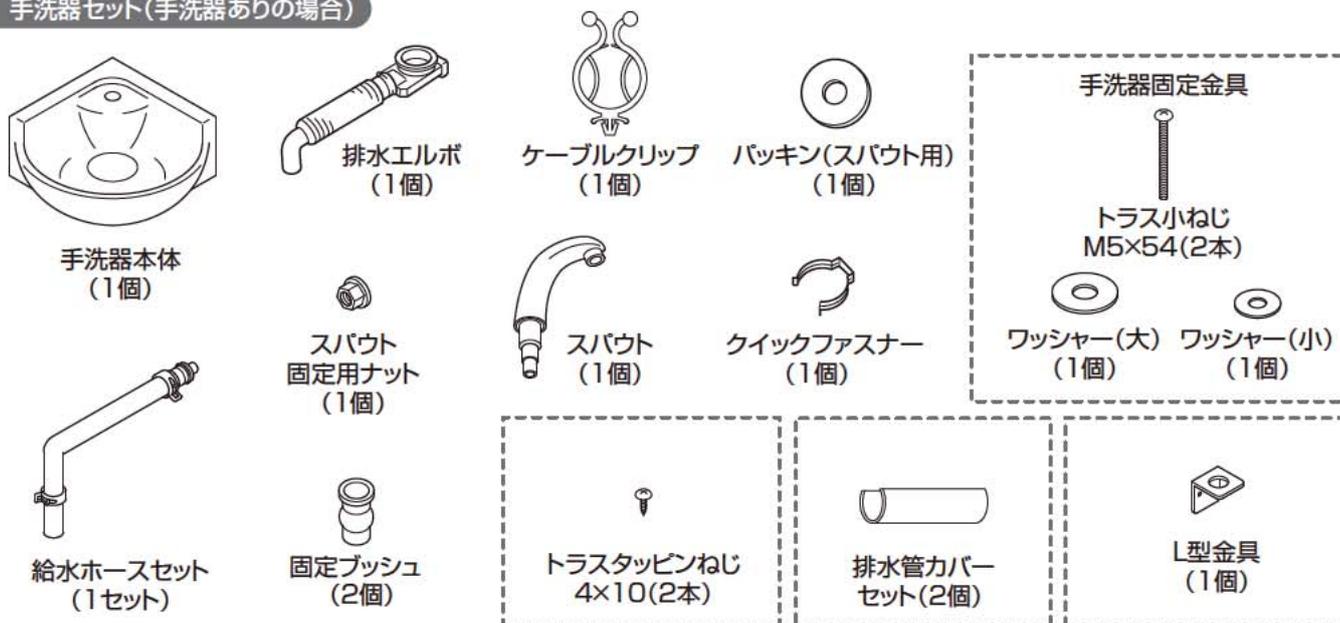
タンク接続管



天板開閉部材セット(まるごと収納タイプの場合)



手洗器セット(手洗器ありの場合)



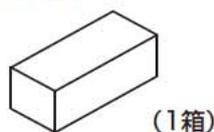
給水ホースセット



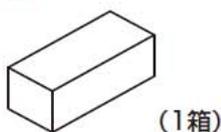
商品選択されている場合に入っているもの

紙巻器

【メタル製】

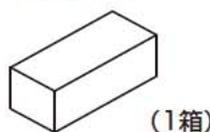


【樹脂製】



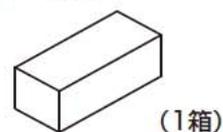
手すり

【ハンドグリップ】



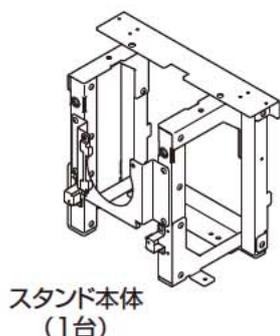
タオル掛け

【壁取付タイプ】



その他包装

壁掛大便器スタンドセット



間口調整材 L
(1個)

間口調整材 R
(1個)

トラスタッピンねじ
5×14(4本)

タンク固定板
(1枚)

トラス小ねじ
M6×16(2本)

なべタッピンねじ
6×50(16本)
(スタンド・壁・床固定用)

大便器固定ボルト
M16×140(2本)

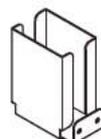
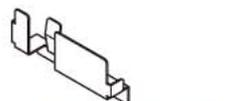
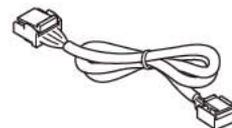
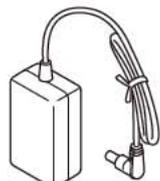
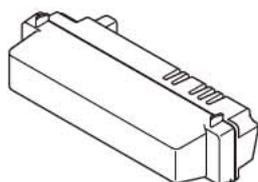
化粧座金
(外形:φ42mm)
M16(4枚)

平ゴムパッキン
(外形:φ41mm)
(2枚)

六角ナット
M16(4個)

平座金
(2枚)

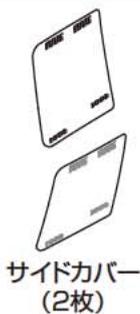
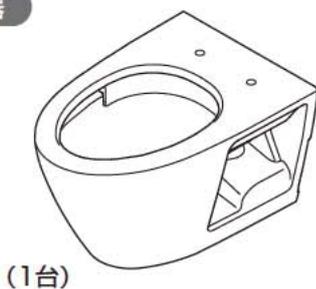
異形ゴムパッキン
(2個)



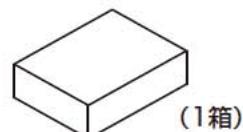
トラスタッピンねじ
3.5×10(2本)

トラス小ねじ
M4×10(2本)

大便器

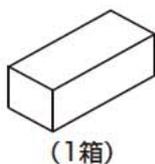


ウォシュレット



※ウォシュレットの箱の中に入っています
「手順編 2.止水栓」で使用します

便器洗浄ユニット



<下記部品は使用しません>

ワッシャーA
(1個)

ワッシャーB
(1個)

コードフック
(7個)

サンドペーパー
(1枚)

その他包装（つづき）

商品選択されている場合に入っているもの

エンドパネル

エンドパネル本体
(1枚)



トラス小ねじ
M4×18(2本)



トラスタッピンねじ
4×30(9本)



アングル材
(3個)

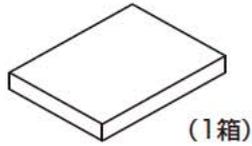


トラスタッピンねじ
4×12(8本)



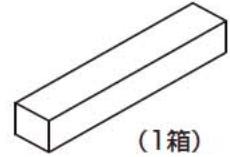
化粧鏡

【アルミフレームタイプ、
木製フレームタイプ】



手すり

【インテリア・バー、木製手すり】



MEMO

手順編

0.エンドパネル（オプション）	▶22
1.壁掛大便器スタンド	▶23
2.止水栓	▶25
3.排水接続管	▶28
4.コアキャビネット	▶29
5.大便器	▶32
6.タンク接続管	▶34
7.セットタンク	▶35
8.ウォシュレット	▶38
9.前板（上）	▶40
10.棚板・タンク上収納底板用アングル材	▶41
11.扉	▶43
12.試運転・確認	▶45
13.流動レバー	▶49
14.給水フィルターの清掃	▶49
	手洗器
	あり なし
15.天板	▶50 ▶53
16.リモコン	▶55
17.仕上げ	▶55
引渡し前の点検	▶裏表紙

マーク表示



寒冷地仕様の場合を示します。



電動ドライバー使用禁止です。手締めしてください。



下穴をあけてください。（例：φ3の場合）



シール
シールテープを巻いてください。



カット
カットしてください。



ボードアンカー
ボードアンカーを差し込んでください。



けがき
けがきをしてください。



水平確認
垂直確認
水平器で水平・垂直確認してください。



0.エンドパネル(オプション)

【エンドパネルがない場合】
P.23「1.壁掛大便器スタンド」から作業してください。

1 アンクル材の取り付け

▶P.22

2 エンドパネルの取り付け

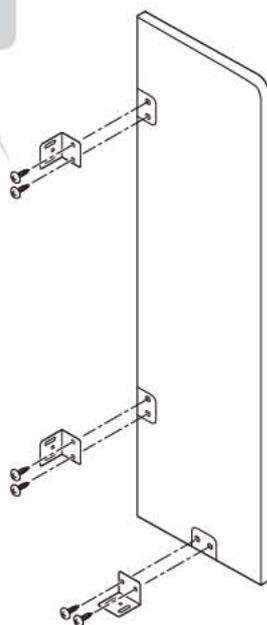
▶P.22

1 アンクル材の取り付け

①

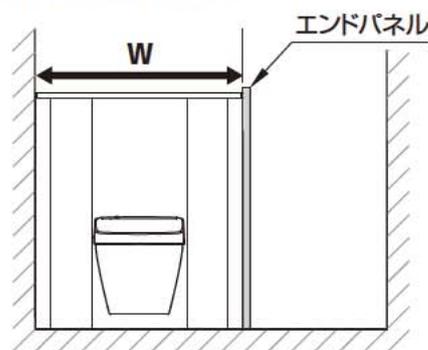
トラスタッピンねじ
4×12(6本)

手締めで



2 エンドパネルの取り付け

間口寸法Wの測定範囲



トラスタッピンねじ
4×30(9本)

②

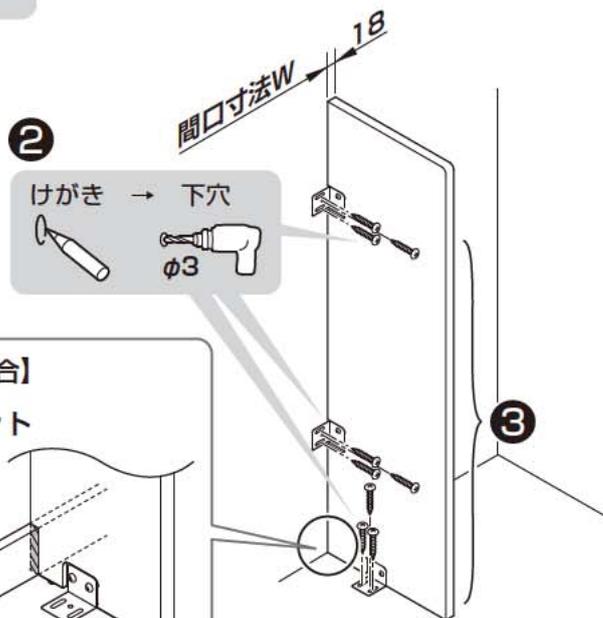
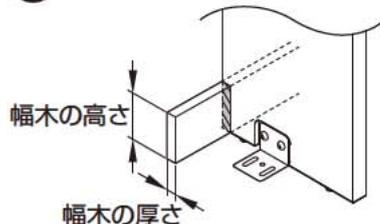
けがき → 下穴



間口寸法W
18

【幅木がある場合】

① 幅木分カット

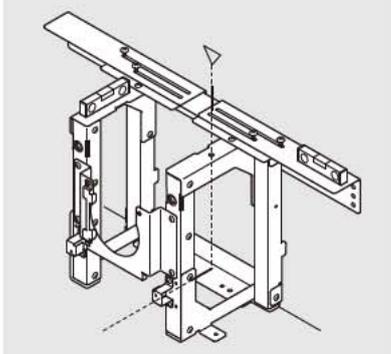


1. 壁掛大便器スタンド

1

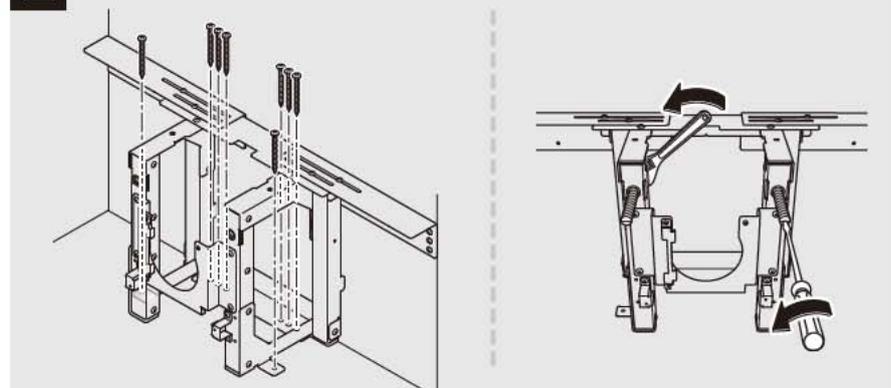
壁掛大便器スタンド

1 壁掛大便器スタンドの仮設置



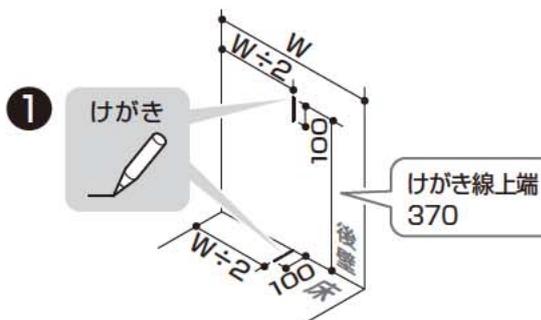
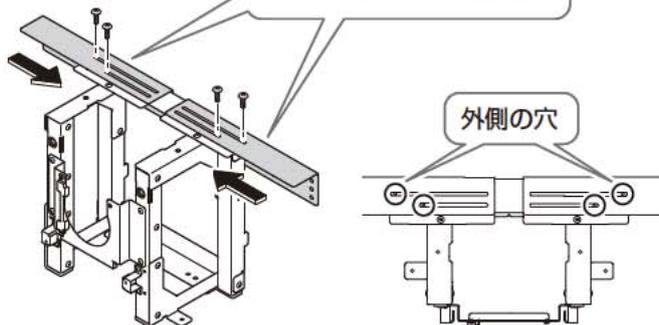
▶P.23

2 壁掛大便器スタンドの固定

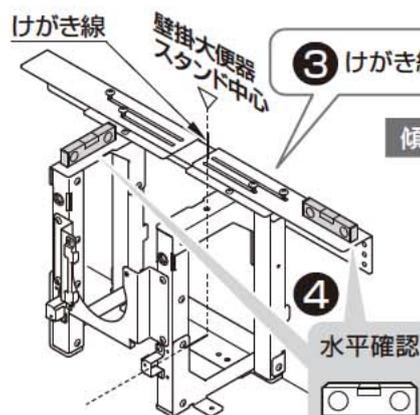


▶P.23

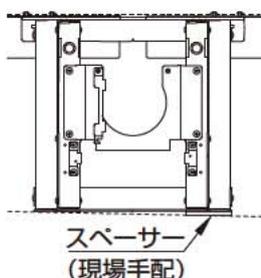
1 壁掛大便器スタンドの仮設置

トラスタッピンねじ
5×14(各2本)2 間口調整材を
中心に寄せて仮固定

3 けがき線にあわせて仮置き



4 水平確認



2 壁掛大便器スタンドの固定

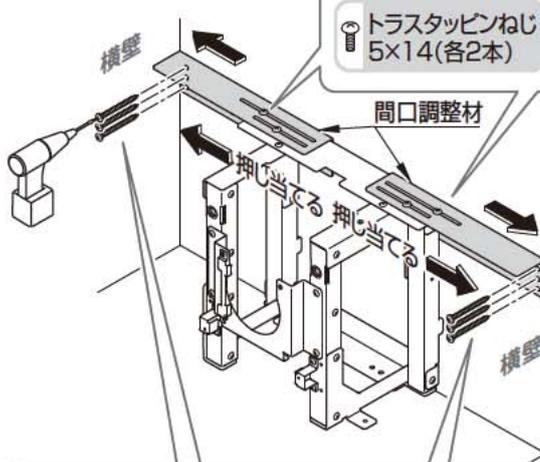
⚠ 注意



必ず守る

横壁と間口調整材とにすき間があかないようにする
商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。

2 本固定(左右)

トラスタッピンねじ
5×14(各2本)

1 (左右)

けがき → 下穴

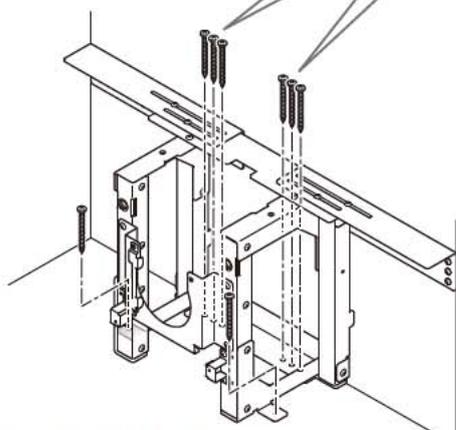
なべタッピンねじ
6×50(各3本)

φ4.5

給水新設

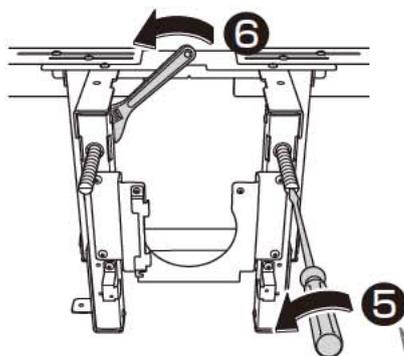
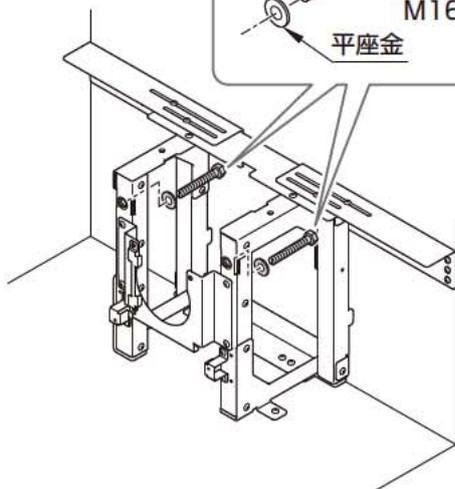
既存給水流用

3 けがき → 下穴
なべタッピンねじ
6×50(8本)



※予備のねじが2本残ります。

4 大便器固定ボルト
M16×140
平座金



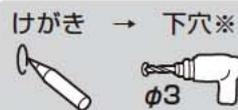
ボルトのすりわり部を
マイナスドライバーで回して固定

ポイント

大便器固定ボルトの頭部分をスパナなどの
工具で最後までしっかりと締め付ける。

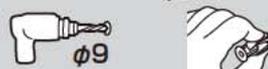
既存給水流用の場合

7 けがき → 下穴※



※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー
(オプション)



排水方向	A
床排水	
壁排水	
後ろ抜き	85
右抜き	
左抜き	170

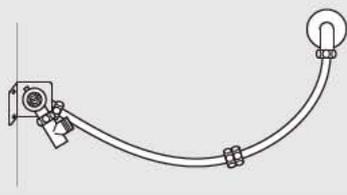
MEMO

2. 止水栓

【給水新設】タイプと【既存給水流用】タイプで施工方法が異なります。
商品タイプをご確認のうえ、作業を進めてください。

1 止水栓・分岐金具の取り付け

【既存給水流用(一般地/流動方式)場合】



給水新設

▶ P.25

給水流用
既存▶ P.26 一般地/流動方式
▶ P.27 水抜方式

給水新設

1 止水栓・分岐金具の取り付け

ポイント

左右勝手とも取付位置は正面
向かって左

注意

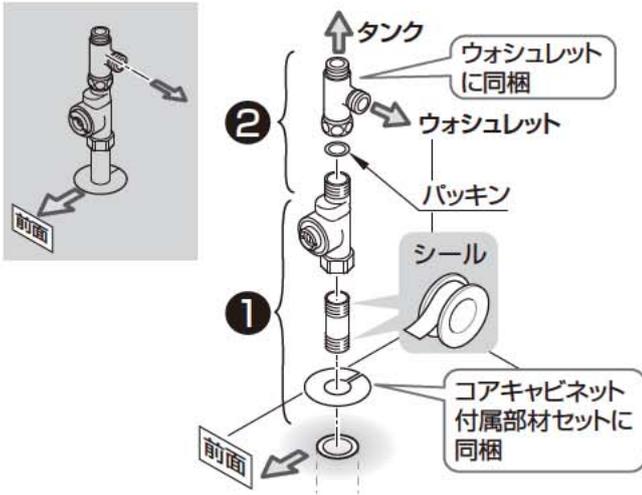


必ず守る

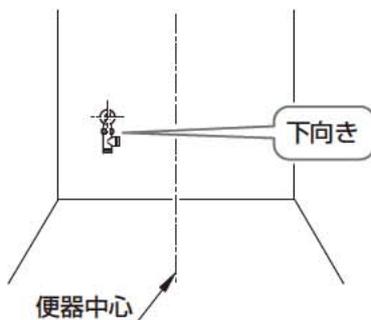
止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を
取り付ける

設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が
除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こす
おそれがあります。

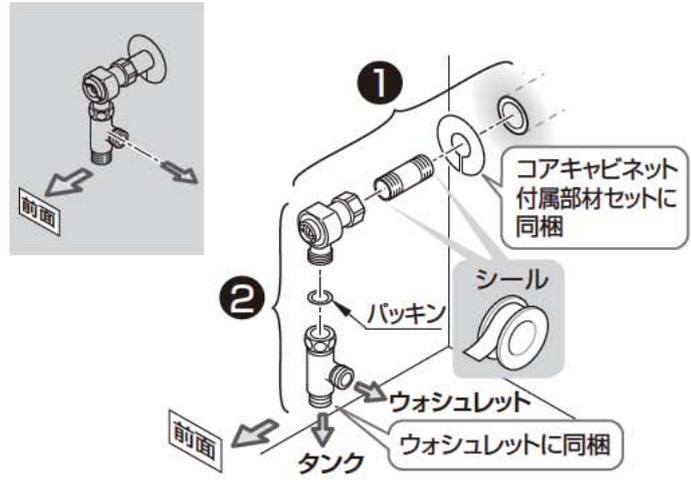
床給水



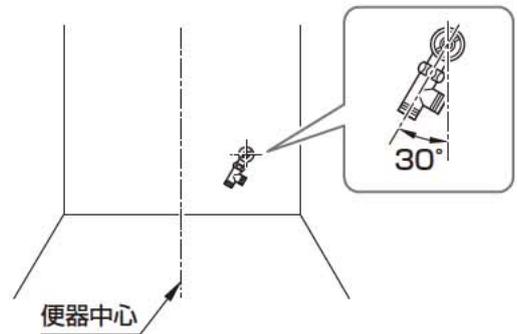
【床排水/壁排水 後ろ抜き 右抜きの場合】



壁給水



【左抜きの場合】



給水新設

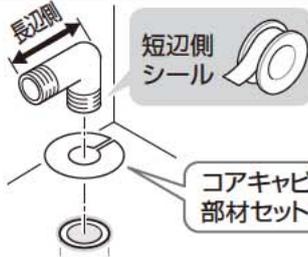
既存給水流用

既存給水流用 一般地 / 流動方式

1 止水栓・分岐金具の取り付け

1

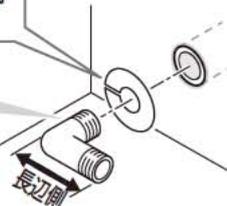
床給水



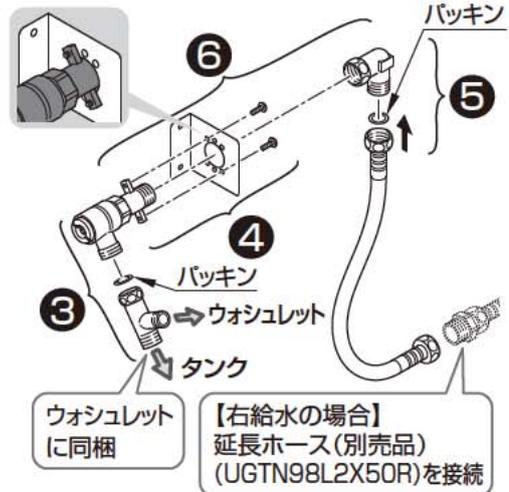
壁給水

コアキャビネット付属
部材セットに同梱

短辺側
シール



なべ小ねじ
M4×8 (2本)



注意



必ず守る

止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付ける

設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

7

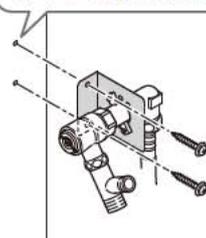
座金付タッピンねじ
4.5×38 (2本)

【エンドパネルに壁側板
を取り付けている場合】

必ず使用

「エンドパネル」に同梱
トラスタッピンねじ
4×12(2本)

事前にあけた左横壁下穴
(▶P.24)に取り付け

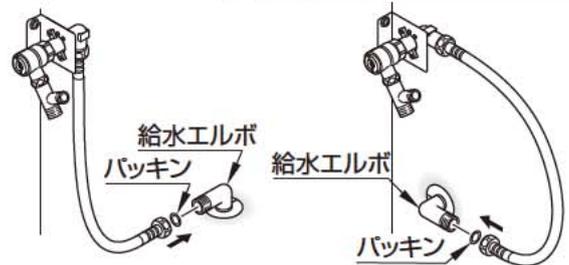


8

※給水ホースの取り回しは下欄参照

床給水

壁給水



MEMO

2

止水栓

給水ホースの取り回し

	給水位置が壁掛大便器 スタンドの左の場合	給水位置が壁掛大便器 スタンドの内部の場合	給水位置が壁掛大便器スタンドの 右の場合
壁給水			
床給水			

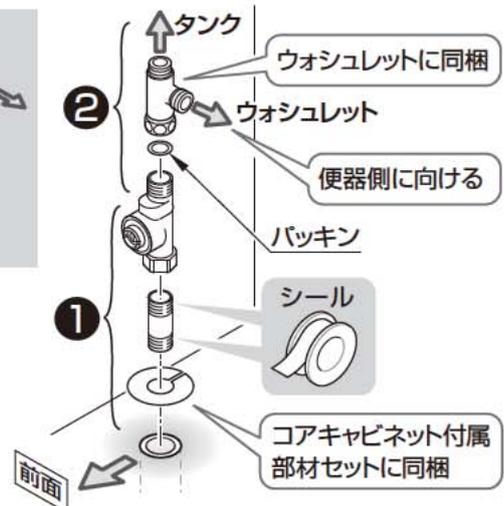
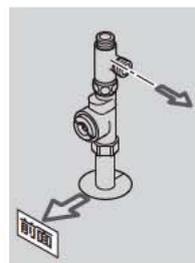
既存給水流用 水抜方式

1 止水栓・分岐金具の取り付け

注意

必ず守る

止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓
(フィルター付き)を取り付ける
設置しただけの場合、フィルターがないため給水
管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりに
よる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

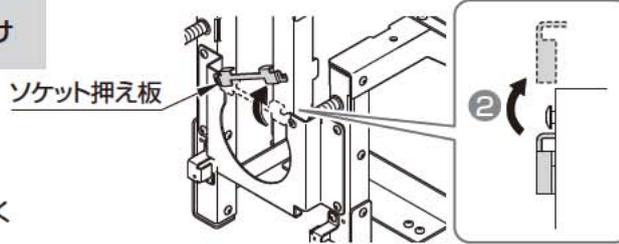


※図は止水栓が左側にある場合

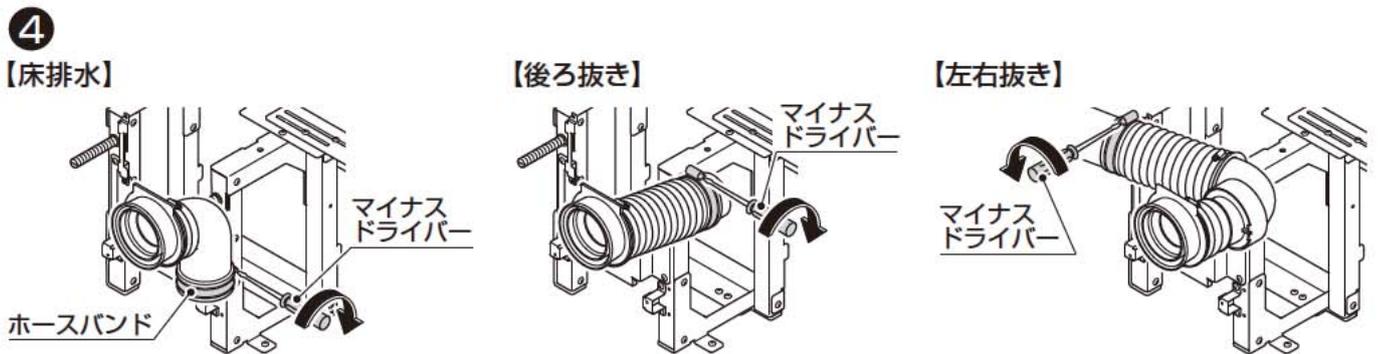
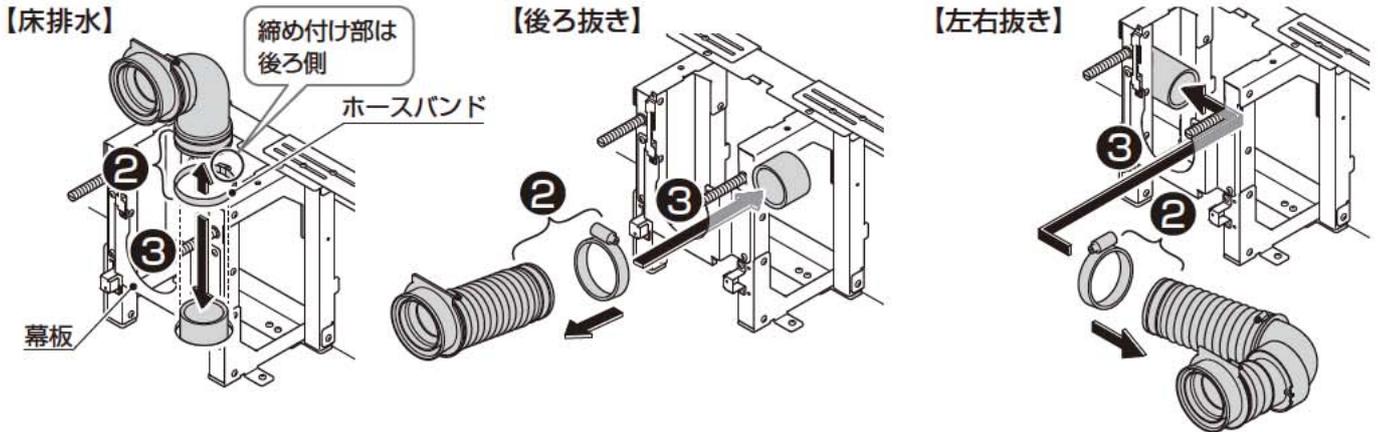
3.排水接続管

1 排水接続管の取り付け

- ① ソケット押え板を上げておく
- ① テープ留めを外す
- ② リベットを乗り越えて、上げておく



3 排水接続管



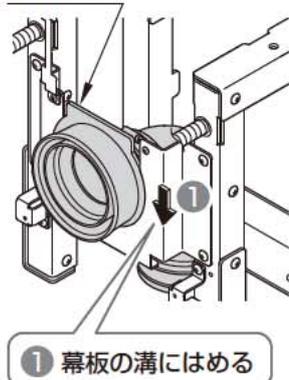
⚠ 注意



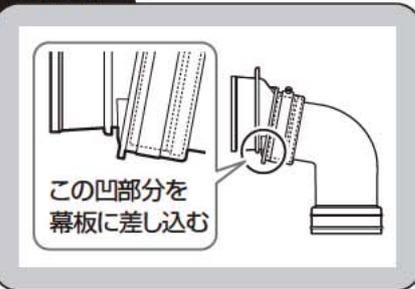
ホースバンドは、電動ドライバーで締め付けない
排水接続管にしわがよったり破れたりして、水漏れし、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

5 排水ソケットの固定

排水ソケット

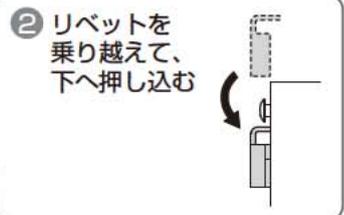


ポイント



この凹部分を
幕板に差し込む

- ① 幕板の溝にはめる

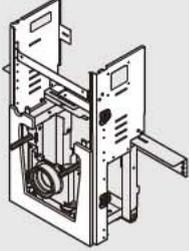


- ② リベットを乗り越えて、下へ押し込む

- ③ リベットに引っ掛ける

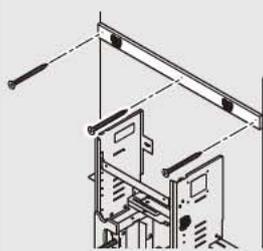
4. コアキャビネット

1 コアキャビネットの 取り付け



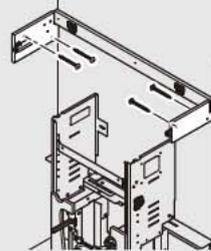
▶P.29

2 後横さんの取り付け



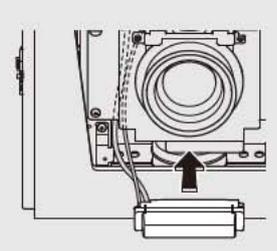
▶P.30

3 壁側板の取り付け



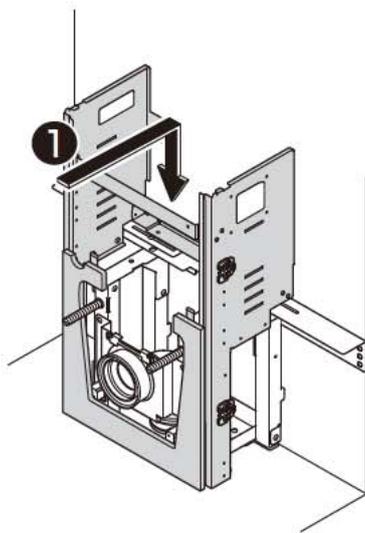
▶P.30

4 照明部材の取り付け



▶P.31

1 コアキャビネットの取り付け



注意

ねじ固定時に側板が
曲がらないようにすること



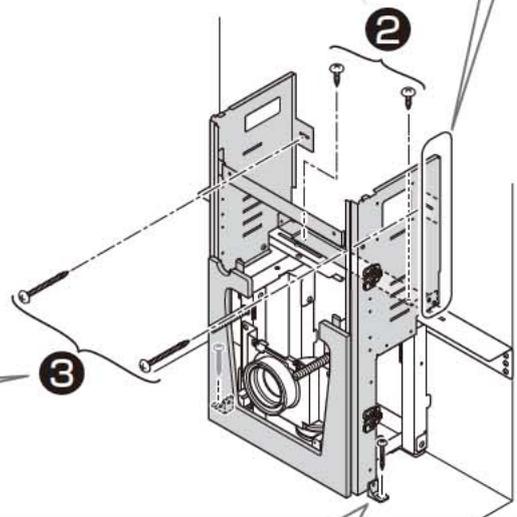
けがき → 下穴



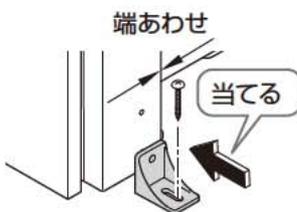
トラスタッピンねじ
4×40(2本)

トラスタッピンねじ
5×14(2本)

壁との
すき間なし



4 アングル材を側板に当て、床に固定 (側板への固定は不要)(左右2カ所)



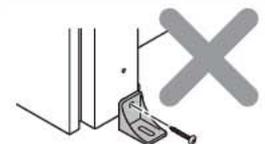
けがき → 下穴



トラスタッピンねじ
4×30(2本)

注意

側板へ固定しない

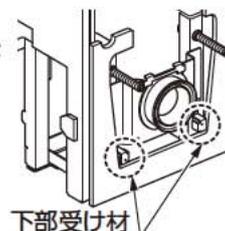
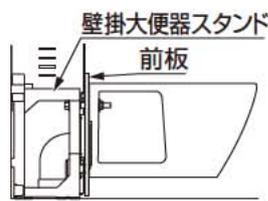


ポイント

下部受け材前面が前板より
2mm程度、前に出ていることを
確認する

下部受け材が壁仕上げ面より引っ込んでいると、
前面に荷重がかかり破損するおそれがあります。

【設置完了状態】



2 後横さんの取り付け

1 後横さんカット・穴あけ

ポイント

チッピングに注意!

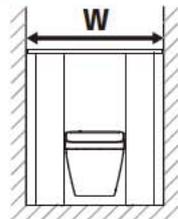
木口張り

木口張り面から
カットする



※壁裏補強なしの場合は間柱中心

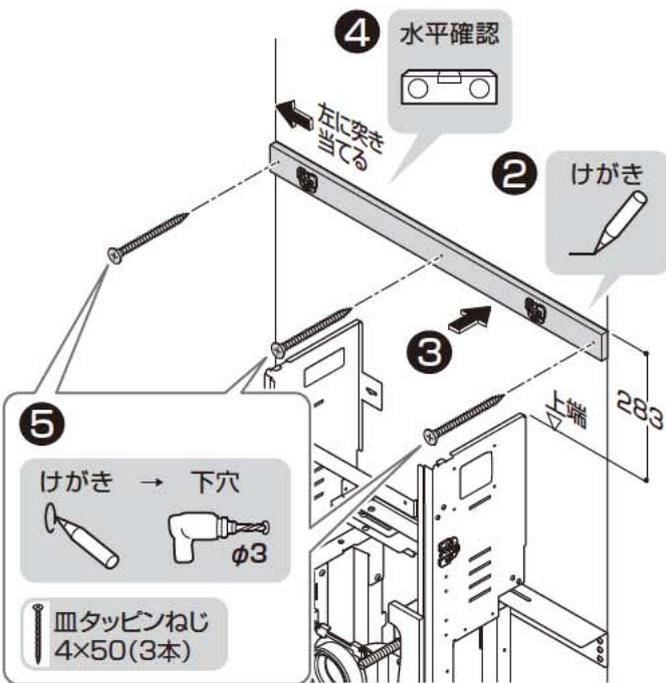
間口寸法Wの測定範囲



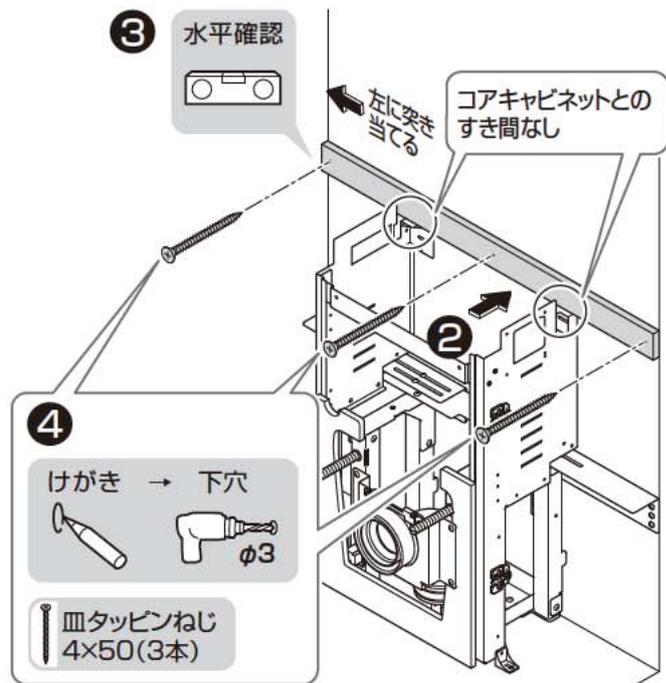
【エンドパネルありの場合】



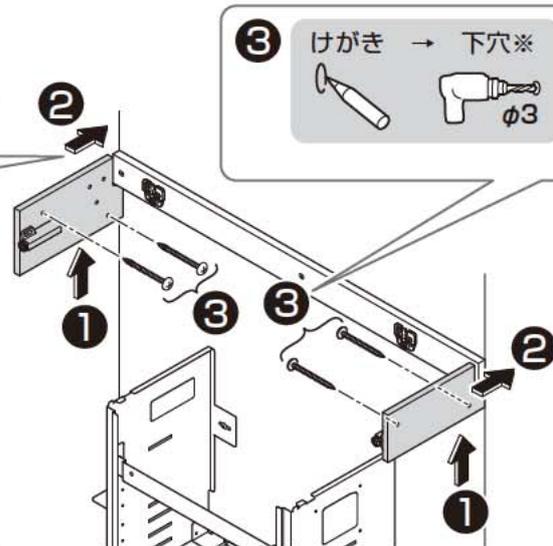
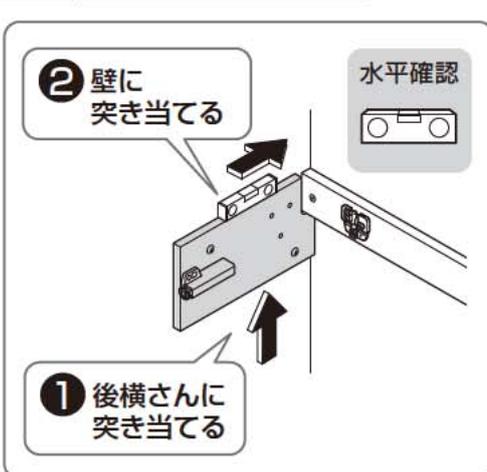
まるごと収納タイプの場合



すっきり収納タイプの場合



3 壁側板の取り付け



トラスタッピンねじ
4x40 (4本)

※【壁裏補強なしの場合】
下穴 → ボードアンカー
(オプション)



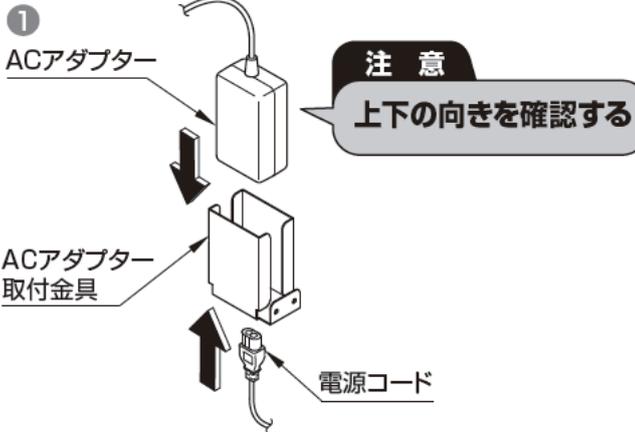
エンドパネルの場合

必ず使用

「エンドパネル」に同梱
トラス小ねじ
M4x18 (2本)

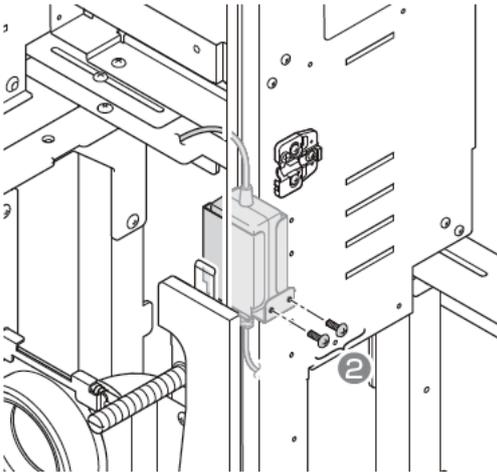
4 照明部材の取り付け

① ACアダプターの取り付け

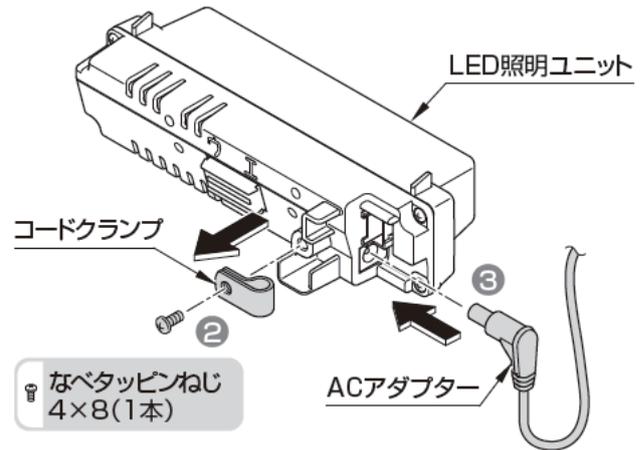
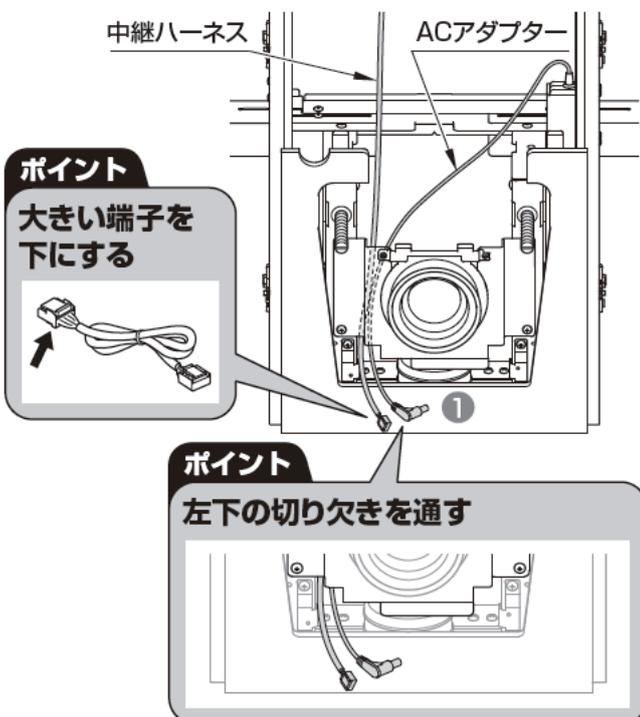


トラス小ねじ
M4×10(2本)

手締めで



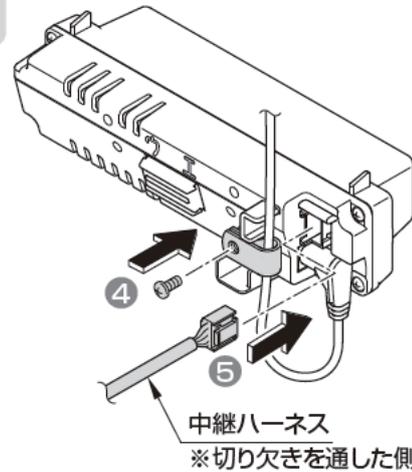
② LED照明ユニットの組み立て



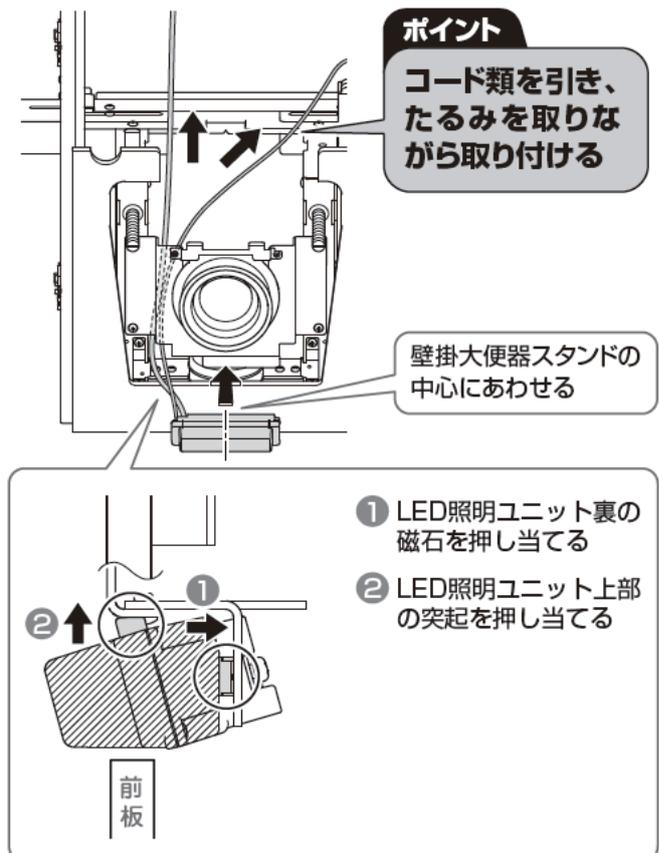
手締めで



なべタッピンねじ
4×8(1本)

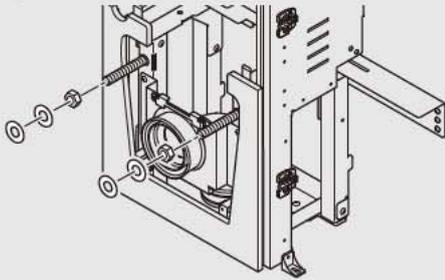


③ LED照明ユニットの取り付け



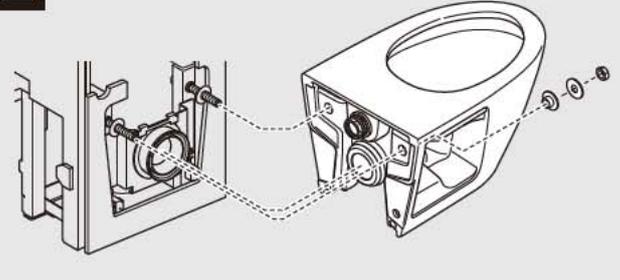
5. 大便器

1 取り付けの準備



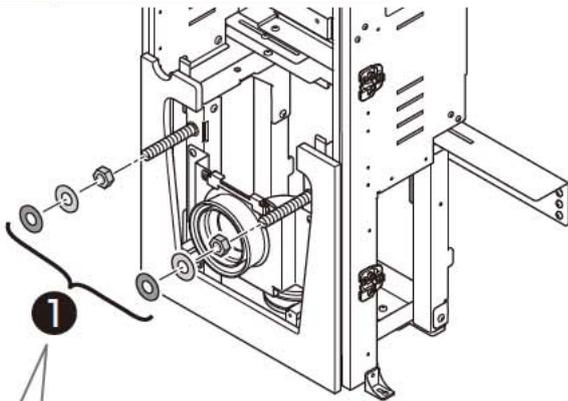
▶P.32

2 大便器の取り付け



▶P.33

1 取り付けの準備

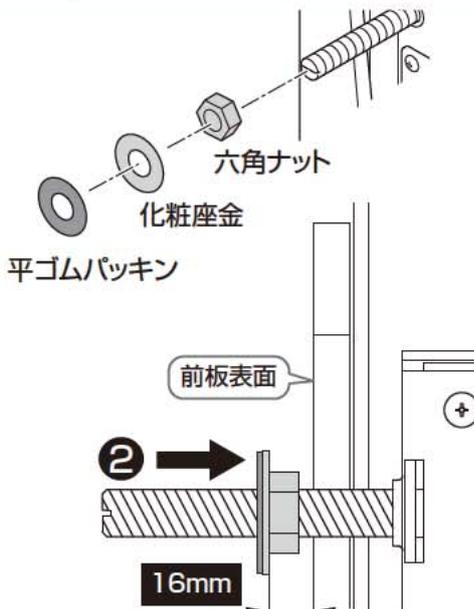


注意



必ず守る

化粧座金が前板表面より16mmの位置になるように調整する
前板に荷重がかかり破損するおそれがあります。

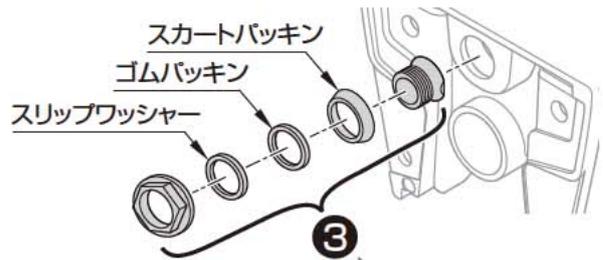


注意

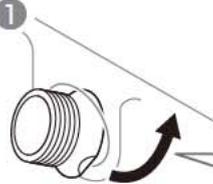


必ず守る

大便器の底に張ってある断熱材は、はがさない
はがしたり傷つけたりすると結露した水によって家財
などをめらす財産損害発生の原因となります。



③-1



取付穴

切り落とし部以外から差し込む

切り落とし部

③-2

取付穴に差し込む



スカートパッキン

③-3

組み込む



ゴムパッキン

スリップワッシャー

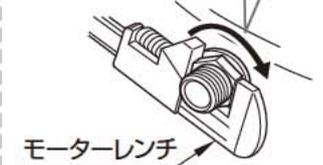
③-4

取付穴の中心で引き寄せ、手で締め込む

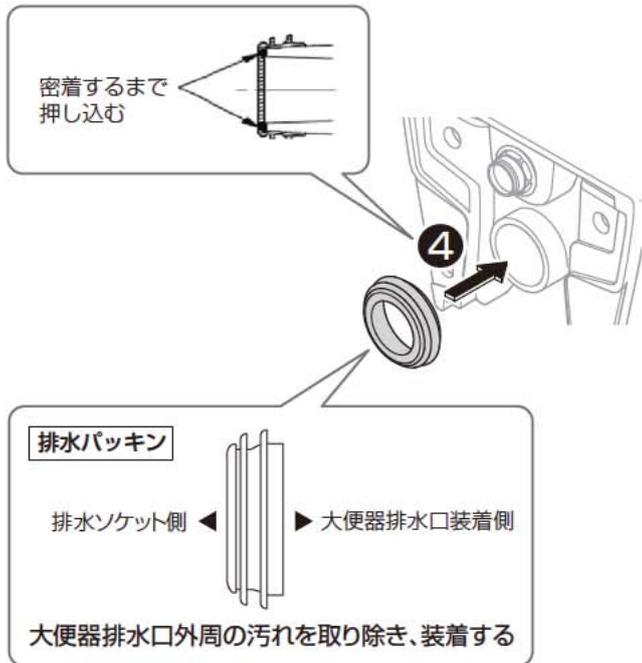


③-5

最後に工具で締め込む



モーターレンチ



注意



グリスは使用しない

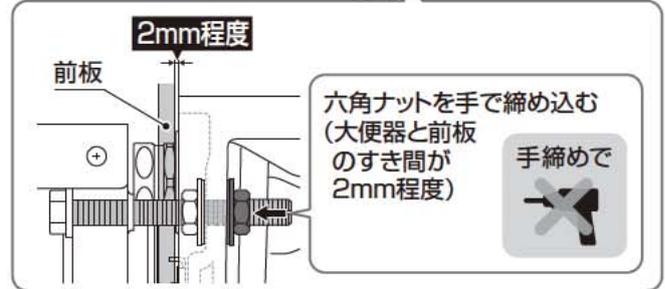
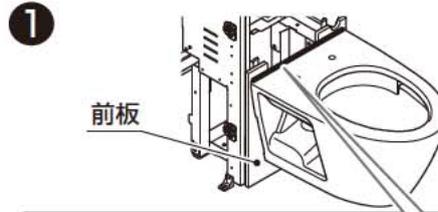
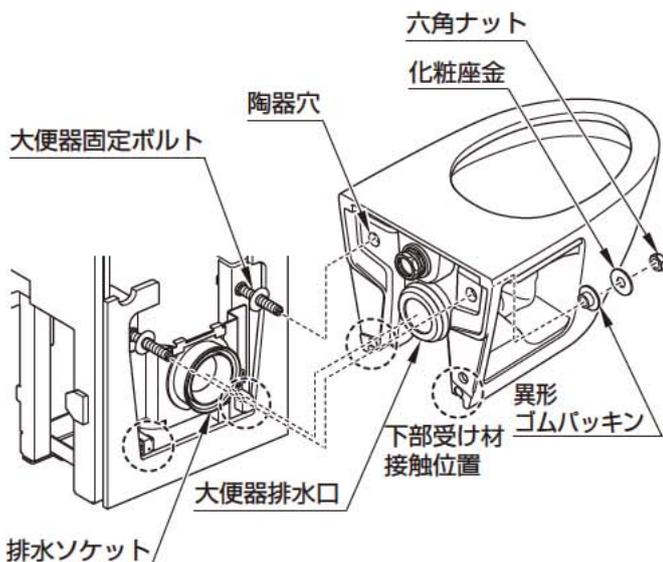
劣化し水漏れして家財などをめらす財産損害発生
の原因となります。



必ず守る

- 排水パッキン表面に必ず水または水石けんを付けてから差し込む
- 排水パッキンは大便器排水口に密着するまで押し込む
水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

2 大便器の取り付け



ポイント

- 便器を工具で締め付ける前に、便器上面のすき間が2mm程度であること、便器の裏面に平ゴムパッキンが接触していることを確認する
- すき間が2mm程度でない場合は、化粧座金から前板表面までの寸法16mmを微調整する
工具で締め付けた際、前板に荷重がかかり破損するおそれがあります。

注意

コード類を挟み込まないこと

② 排水接続管が逆勾配にならないように確認・調整

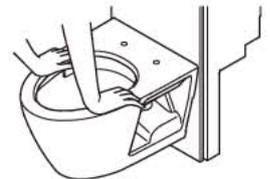
③ 上部の六角ナットを交互に締め付け本固定

注意

パッキンの擦れる音がしたら、六角ナットの締め込みすぎです。

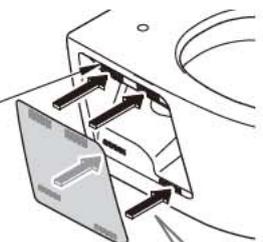
④ ぐらつきおよび異音有無の確認

- 便器先端に両手で荷重をかけ
- 便器がぐらつかないこと
 - 異音発生のないこと
 - 前板と大便器のすき間は2mm程度のこと
 - 便器下部受材に大便器が接触していること



⑤ サイドカバー取り付け

サイドカバー
取付境界線

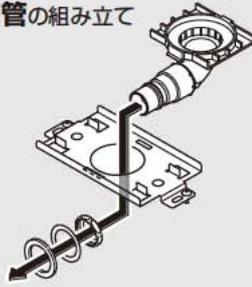


※面ファスナー部(4カ所)をしっかり押さえて、サイドカバーが外れないことを確認してください。

押し当てる

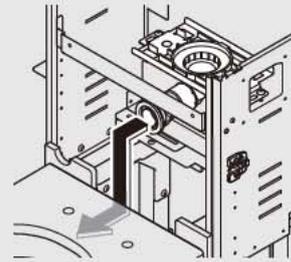
6. タンク接続管

1 タンク接続管の組み立て



▶P.34

2 タンク接続管の取り付け



▶P.34

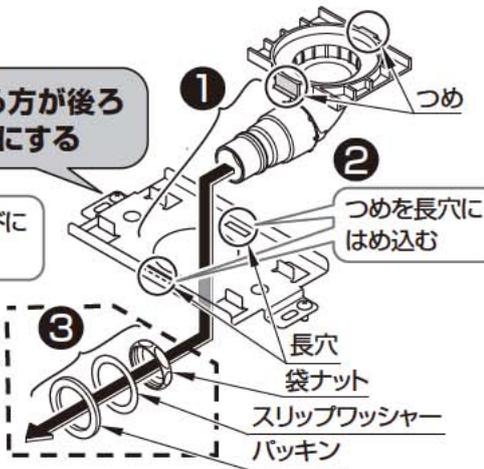
6
タンク接続管

1 タンク接続管の組み立て

ポイント

ねじがある方が後ろになるようにする

大便器スパッドに同梱



⚠ 注意



必ず守る

袋ナット・スリップワッシャー・パッキンの取付順番を間違えないようにする
水漏れして、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

手締めで



① (左右) 前後左右の水平を確認しながらねじをゆるめる

②

トラス小ねじ M6×16(2本)

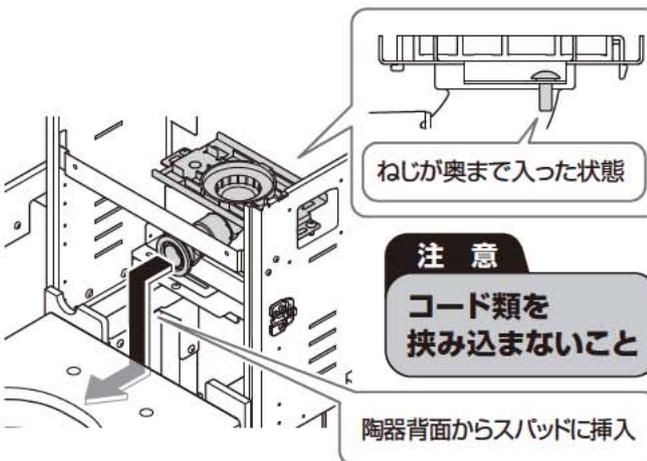
ポイント

下記内容を確認してください。

- ・タンク接続管がスパッドの奥にあたっていること
- ・タンク接続管が前後左右水平であること
- ・ねじにゆるみ、ガタつきがないこと

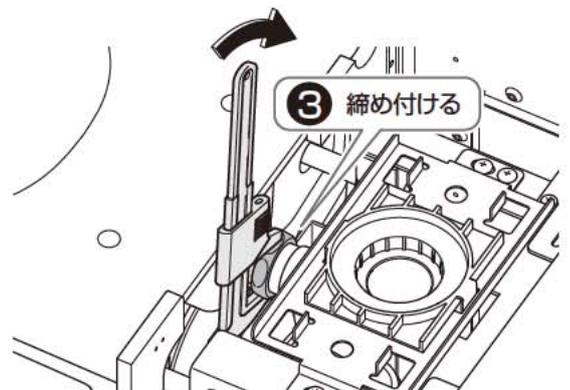
※タンク接続管が水平でない場合、後でタンクを設置した際、タンクが傾きキャビネットや照明部材と干渉します。

2 タンク接続管の取り付け



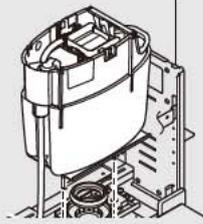
陶器背面から視点

③ 締め付ける



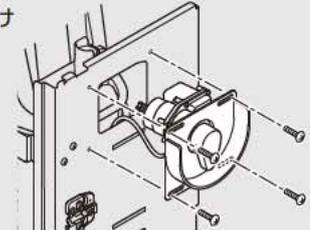
7.セットタンク

1 セットタンクの取り付け



▶P.35

2 洗浄レバーの取り付け



▶P.36

1 セットタンクの取り付け

ポイント

セットタンクの給水ホースは壁掛大便器スタンドとコアキャビネット側板のすき間を通す

4 すき間確認

※タンクがキャビネット側板に干渉している場合は、タンクを外して、タンク接続管が傾いていないか、確認してください。

タンク接続管とタンク下部の板金(黒)との間



タンクとコアキャビネット側板の間



タンクと後壁の間



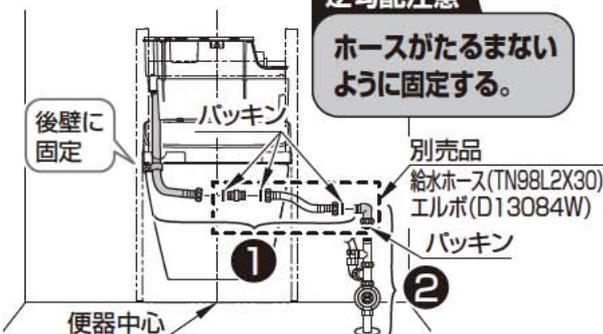
水抜方式



止水栓が右側にある場合

逆勾配注意

ホースがたるまないように固定する。



タンク内から取り出す

カバー(A)

6 カバー(B)の取り付け



2 タンク接続管に載せる

注意



タンクにパッキンがセットされていることを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

注意

コード類を挟み込まないこと

固定ナットの取り付けかた

注意



必ず守る

左右の固定ナットを確実に締める
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

固定ナットを締め付けるときは必ず手で行う
工具を使用すると破損するおそれがあります。



固定ナットを手締めでかたく締め付ける。

2 洗浄レバーの取り付け

※便器洗浄ユニットと同梱の説明書とは、取付向きが異なります。ワッシャーA、ワッシャーBは使用しません。

●印を奥壁側に向ける
(上表参照)

1 しっかり締め付ける

2

奥壁側

カチッ

①印を下側に向ける

皿ねじ 3×10(1本)

ガタツキがないように
しっかり締め付けること

シールの張り付け

シールを張る

大

小

シール

③ トラス小ねじ M4×10(4本)

洗浄レバーカバー

手締めで

コードはコアキャビネット
内側に垂らす

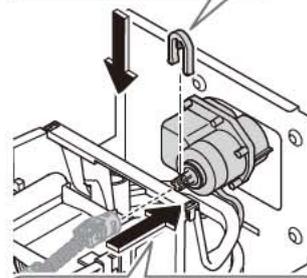
ポイント

【間口が狭い場合】

斜めに差し込む

4 ジョイントからピンを取り外す

6 ピンを差し込む

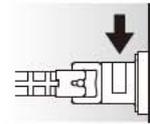


5 ジョイントを差し込む

ポイント

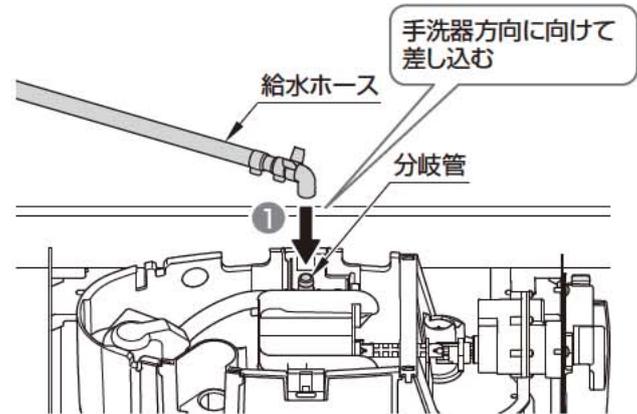
ジョイントが
抜けないことを確認

ピン固定位置

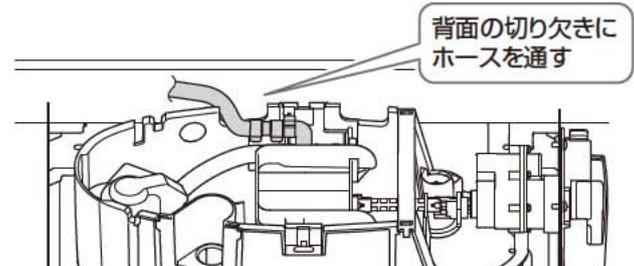


手洗器ありの場合

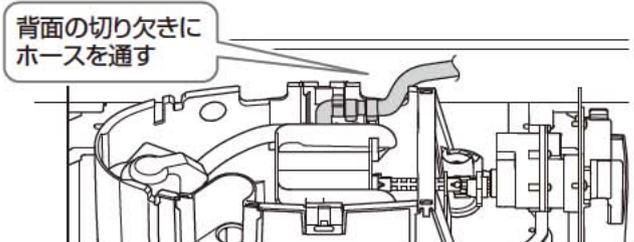
7 手洗器給水ホースの接続

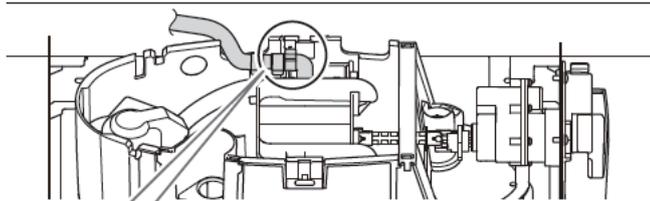


【左勝手の場合】

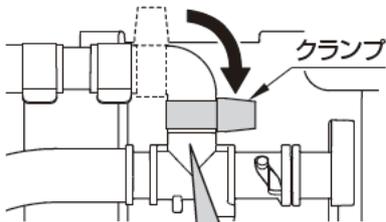


【右勝手の場合】





② クランプをつまんで移動し、分岐管とホースを締め付ける

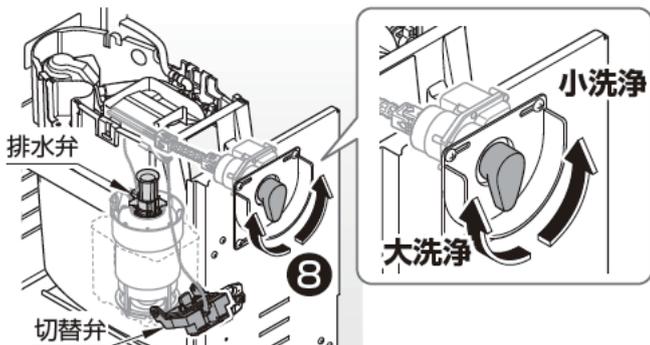


注意

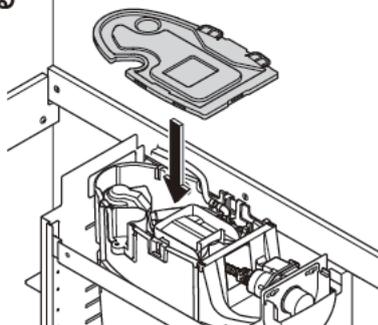
ホースの先端が突き当たるまで差し込むこと

⑧ 作動確認

- レバーが「大」側、「小」側へ正常に作動すること
- 「大」側に回し、排水弁のみが引き上がる
- 「小」側に回し、排水弁・切替弁が引き上がる
- 洗浄後、レバーが正規の位置に戻る

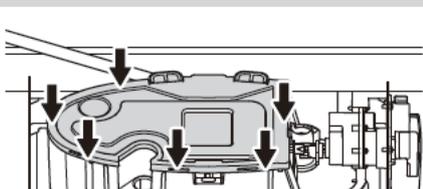


⑨ カバー(A)を閉じる

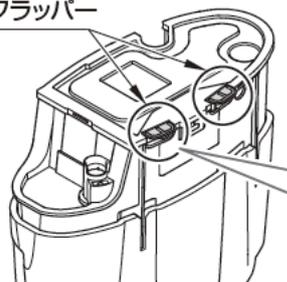


ポイント

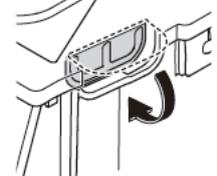
カバーがしっかり閉まり、浮き上がっていないことを確認する



フラッター



⑩ 給水ホースを通さない側のフラッターを折り込む



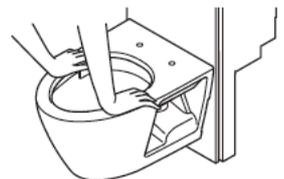
! **注意**

!
必ず守る

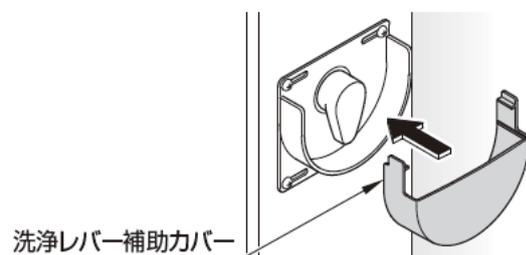
カバーがしっかり閉まっていることを確認する
カバーが閉まっていないと、タンク内の水が跳ねて
家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

⑪ ぐらつきおよび異音有無の確認

- 便器先端に両手で荷重をかけ
- 便器がぐらつかないこと
 - 異音発生のないこと



⑫ 洗浄レバー補助カバーを取り付ける



洗浄レバー補助カバー

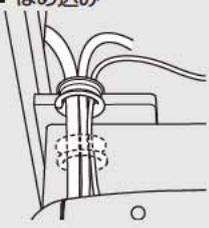
MEMO

8.ウォシュレット

1 ウォシュレットの設置

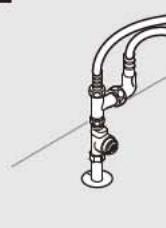
▶ウォシュレット施工説明書

2 ホース・コードのはめ込み



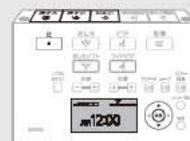
▶P.38

3 ホースの接続



▶P.38

4 リモコンの設定の の動作確認



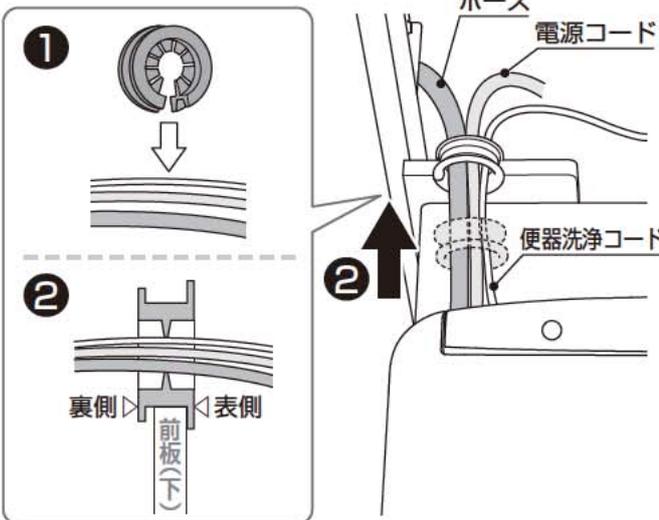
▶P.39

1 ウォシュレットの設置

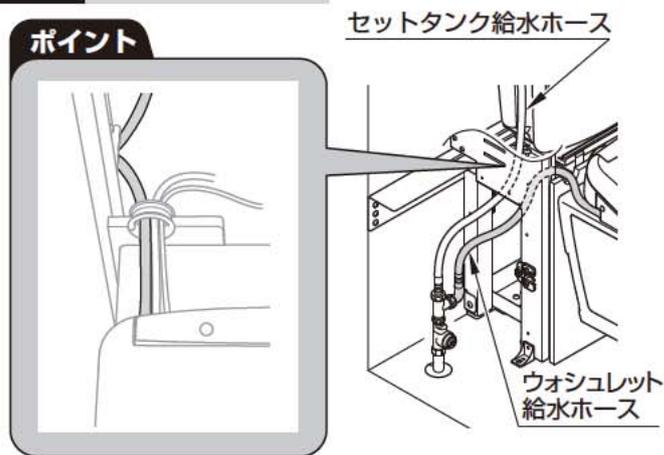
▶ウォシュレット施工説明書

作業がしやすいようにウォシュレットを手前に引き出しておく。

2 ホース・コードのはめ込み



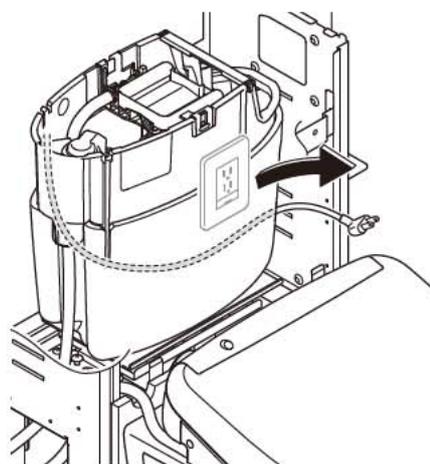
3 ホースの接続



水抜方式

電源コード取り回し

タンク用ヒーターの電源コードをコンセント側に取り回しておく



4 リモコンの設定・作動確認

1 電源プラグの差し込み
 ※ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認

2 流すボタンの取り付け
 ▶流すボタン取付説明書



注意

リモコンには流すボタンが取り付けいていません。必ず取り付けてください。

3 止 10秒以上押す

施工者モード 1/2
 1. 便器洗浄モード
 2. 本体 連立設定確認
 ◆で選ぶ⇒[決定]押す

決定

便器洗浄モード 1/10
 1. 便器洗浄モード 1
 2. 便器洗浄モード 2
 ◆で選ぶ⇒[決定]押す

決定

4

便器洗浄モード 8/10
 7. 便器洗浄モード 7
 8. 便器洗浄モード 8
 ◆で選ぶ⇒[決定]押す

選択

決定

便器洗浄モード 8
 に設定しました

ピッ

決定後確認

表示

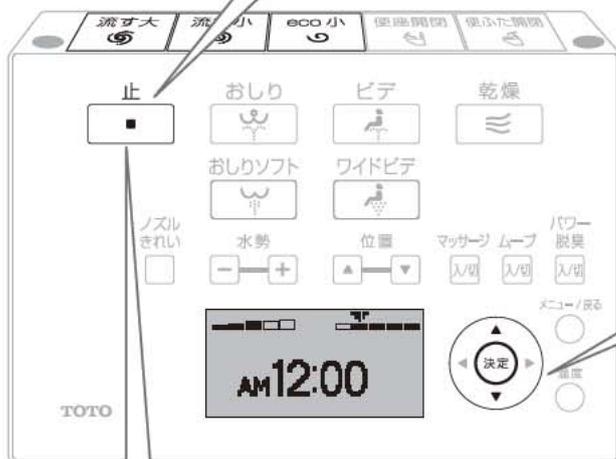
8. 便器洗浄モード 8

リモコンを
 ウォシュレット本体の
 受信部に向ける



注意

モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れた後に行ってください。
 ※ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。



5 止 → 設定完了

※機種によってデザインなどが異なります。

6 作動確認
 ※連続して流すボタンを押しても作動しません。約10秒たってから、もう一度ボタンを押してください。



■正しく作動しない場合は、再度手順③から設定してください

9.前板 (上)

1 前板の組み立て

▶P.40

2 前板の取り付け

▶P.40

3 マイクロ波センサーの取り付け

▶P.40

1 前板の組み立て

注意
上下の向きを確認

トラスタッピンねじ 3.5×10(2本)

手締めで

マイクロ波センサー取付金具
※照明部材セットに同梱されています。

3 マイクロ波センサーの取り付け

マイクロ波センサー

中継ハーネス

2 前板の取り付け

注意
コード類を挟み込まないこと

裏

裏

裏

マイクロ波センサー

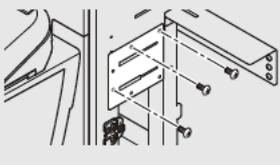
クランプ

裏

9 前板(上)

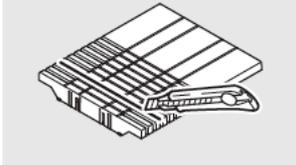
10. 棚板・タンク上収納底板用アンゲル材(まるごと収納タイプ)

1 化粧パネルの取り付け



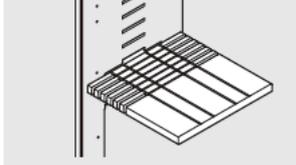
▶P.41

2 棚板のカット



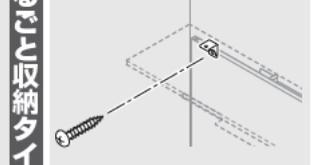
▶P.41

3 棚板の取り付け



▶P.42

4 アンゲル材の取り付け



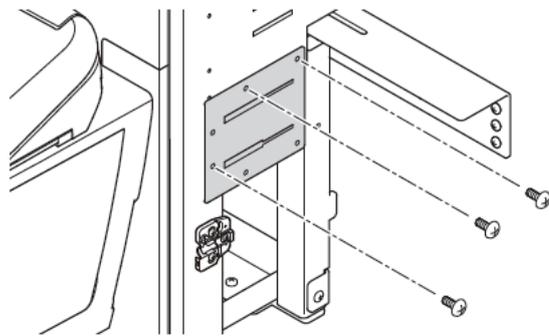
▶P.42

まるごと収納タイプ

1 化粧パネルの取り付け

※左右両方に
取り付けてください。

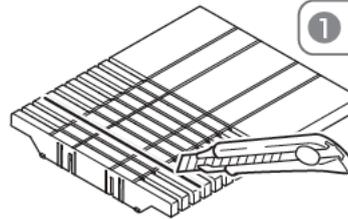
トラス小ねじ
M4×10(各3本)



2 棚板のカット

【上面】

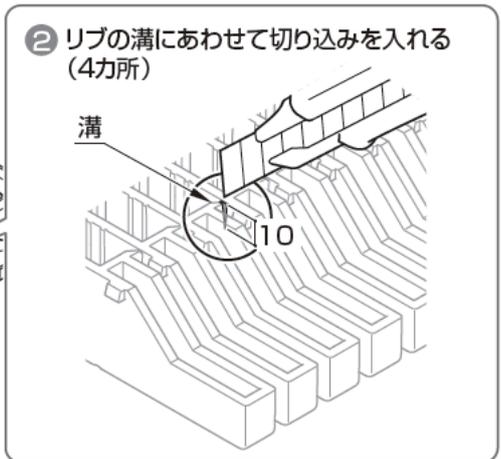
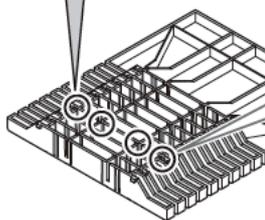
① 2回程度なぞる



【裏面】

けがいた位置を
確認(4カ所)

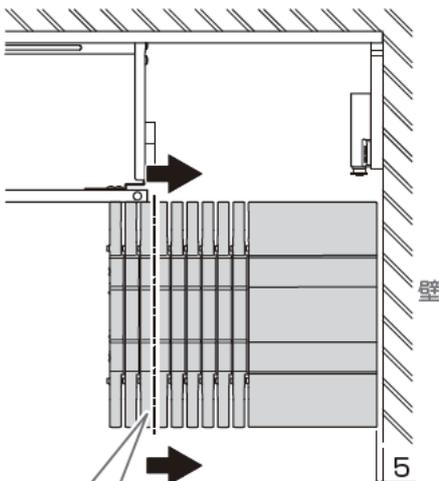
② リブの溝にあわせて切り込みを入れる
(4カ所)



2 棚板のカット

① 設置寸法の測定

【上図】

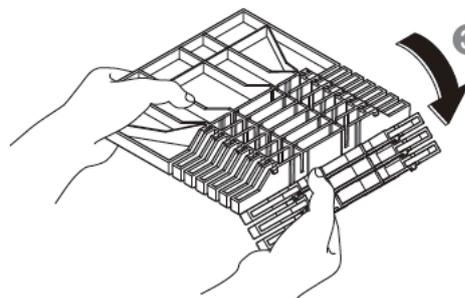


② けがき

前板の端から壁側寄り
にある一番近い溝

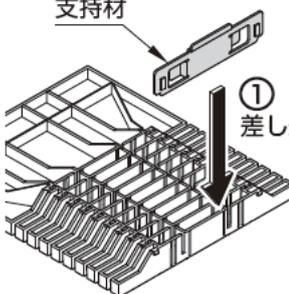
① 5mm程度
すき間をあけて、
前板に当てる

③ 折る



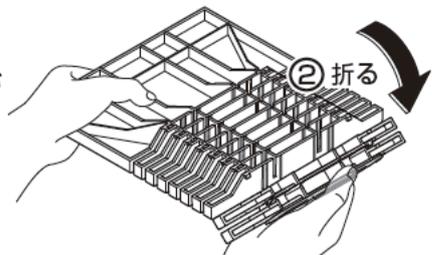
棚板のカット寸法が小さく折りづらい場合

支持材

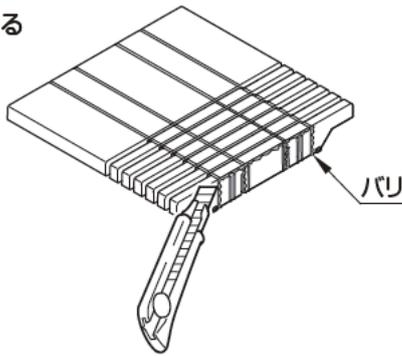


① 差し込む

② 折る



④ バリを取る

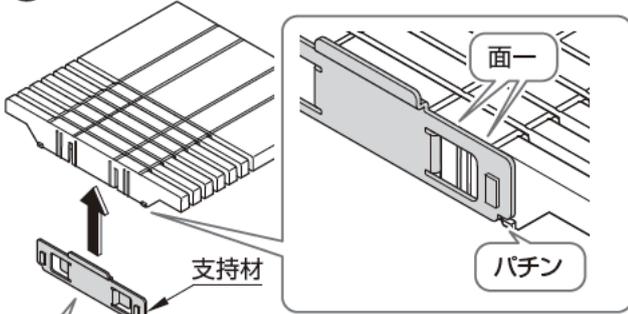


注意

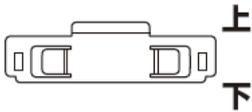
棚板を切断した後は必ずバリを取る
 バリ取りが不十分な場合は、切断面でけがをするおそれがあります。

3 棚板の取り付け

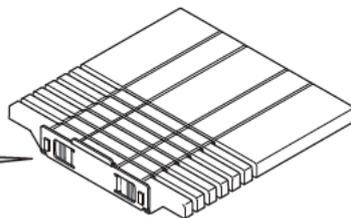
① 支持材の取り付け



支持材の上下に気を付ける



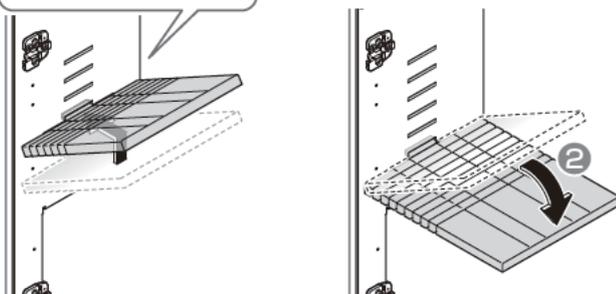
完成図



支持材が外れないことを確認

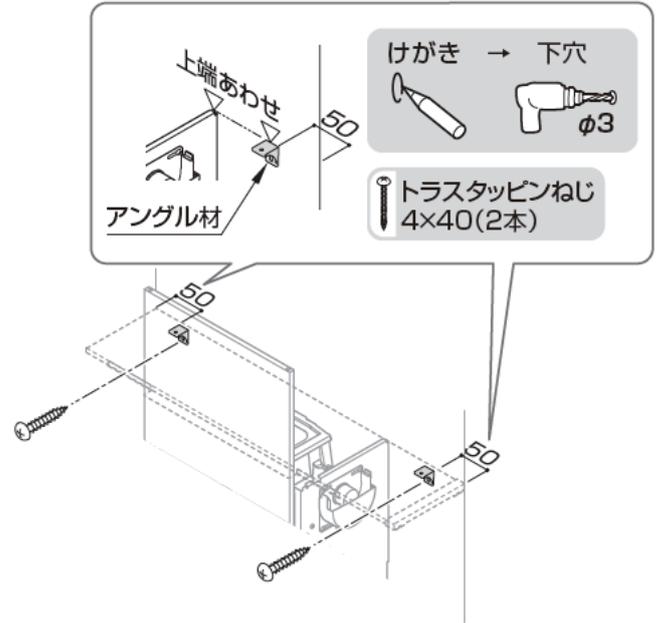
② 棚板の取り付け

① 溝に棚板の支持材を差し込む



まるごと収納タイプ

4 アンゲル材の取り付け



MEMO

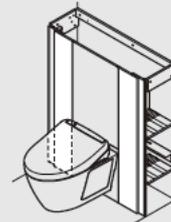
11.扉

1 扉の組み立て



▶P.43

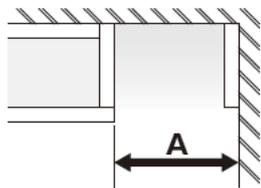
2 扉の取り付け



▶P.43

1 扉の組み立て

① 設置寸法の測定



② 扉の組み立て

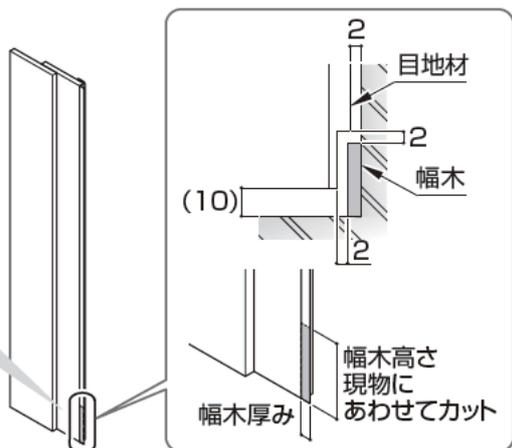
A-3

手締めで

トラスタッピンねじ
4×20(2本)本固定用(ここでは使用しない)
▶「17.仕上げ」※養生シートがある場合は取付前に
シートをはがす
※図は右扉セットの場合

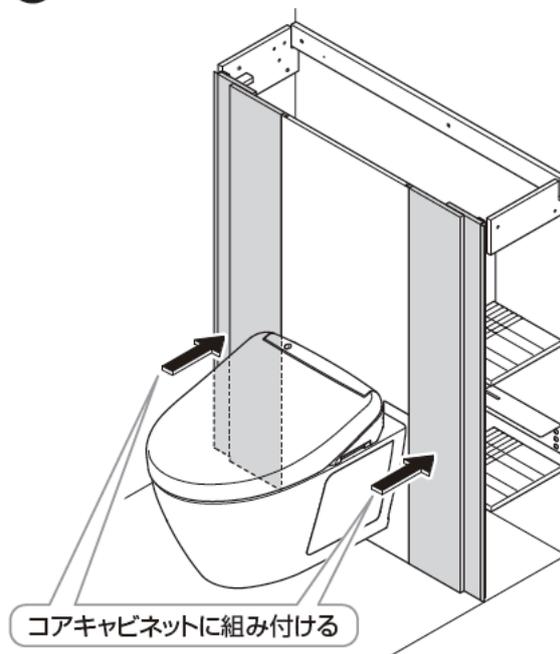
幅木がある場合

カット



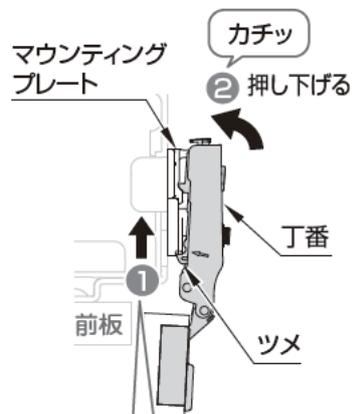
2 扉の取り付け

① 扉をコアキャビネットの丁番に取り付け

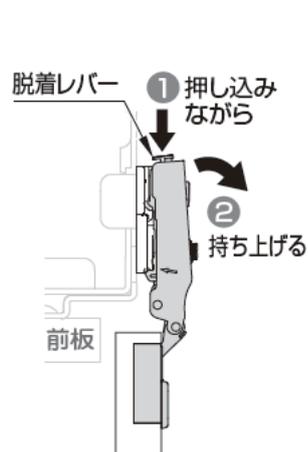


コアキャビネットに組み付ける

取り付けかた

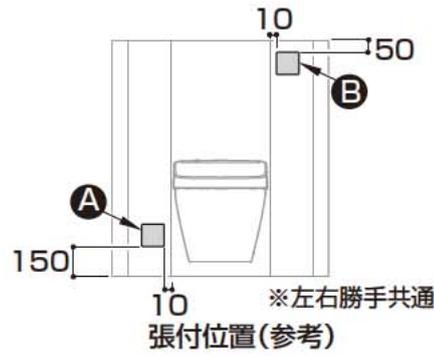
マウンティングプレート
先端にツメを引っ掛ける丁番本体がきちんと
マウンティングプレートに
装着されているか確認する

取り外しかた



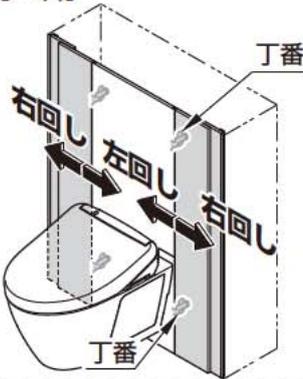
② ラベルの張り付け

- A** 止水栓ラベル
止水栓がある側に張る
- B** 便器洗浄ラベル

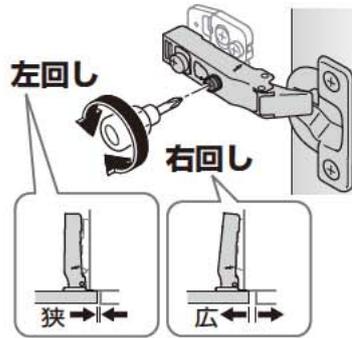


扉の調整

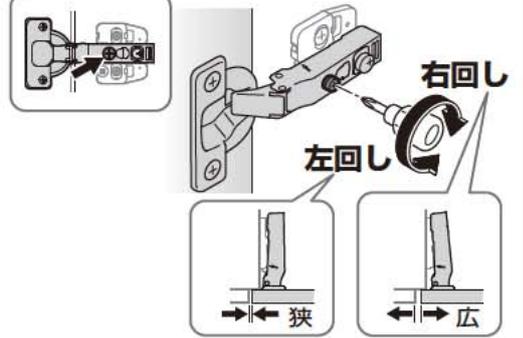
【左右】



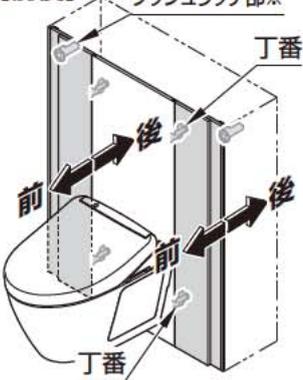
【左扉の場合】



【右扉の場合】



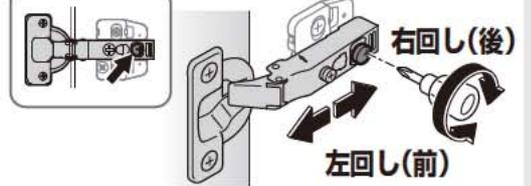
【前後】



【左扉の場合】



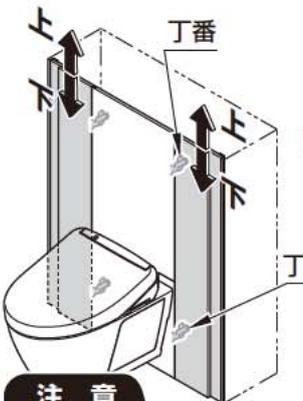
【右扉の場合】



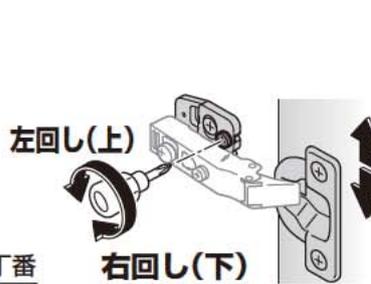
※プッシュラッチ部も
前後調整できます。



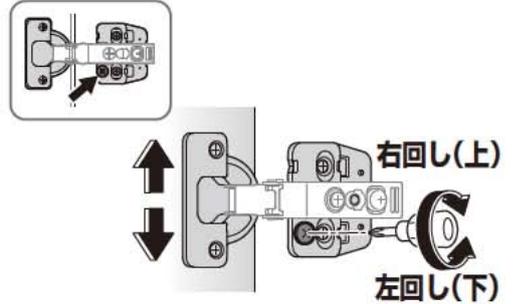
【上下】



【左扉の場合】



【右扉の場合】



注意

扉の上下調整は上下2つの丁番の移動方向をあわせる
逆方向に移動すると扉の動きがたかなくなる、また扉が反ることがあります。

※扉の向きによって調整ねじ位置が変わります。

【お引渡し前に】

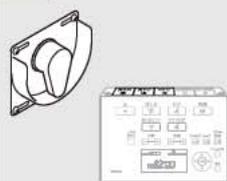
扉の本固定と調整を必ず行ってください。▶P.55

12. 試運転・確認

1 ウォシュレット

▶ウォシュレット
施工説明書

2 便器洗浄の確認



▶P.45

3 大便器・配管類の 水漏れ確認



▶P.45

4 水位確認



▶P.46

5 やわらか フロアライト の動作確認

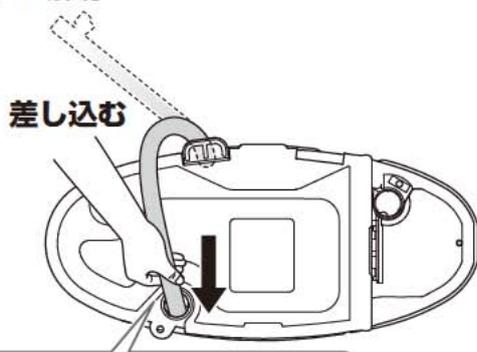


▶P.48

試運転前に

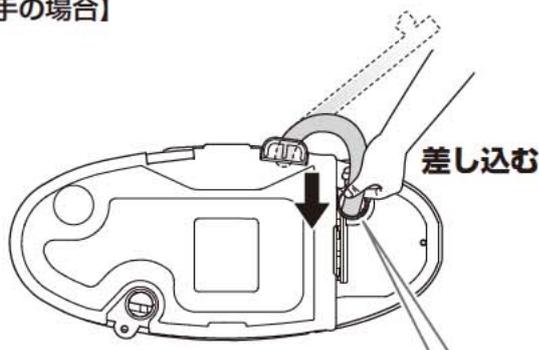
手洗器ありの場合

【左勝手の場合】



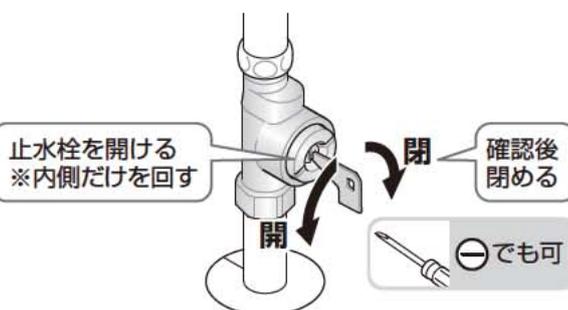
差し込む
手洗器給水ホースをタンクに差し込む

【右勝手の場合】



差し込む
手洗器給水ホースをタンクに差し込む

共通



1 ウォシュレット

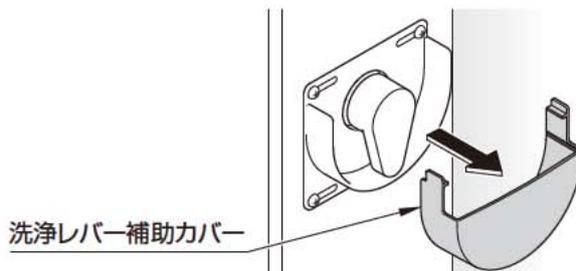
吐水確認をする

▶ウォシュレット施工説明書

2 便器洗浄の確認

洗浄レバー補助カバー

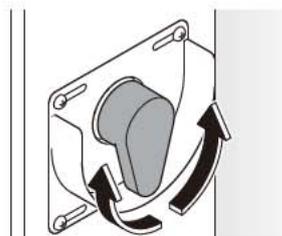
洗浄レバー補助カバーを取り外す



洗浄レバー

【確認ポイント】

- 大・小洗浄とも正常に行われるか
- スムーズに回転するか



注意

正常に作動しない場合、洗浄レバーカバーの
取付位置を確認してください。

洗浄レバー補助カバーを取り付ける

リモコン

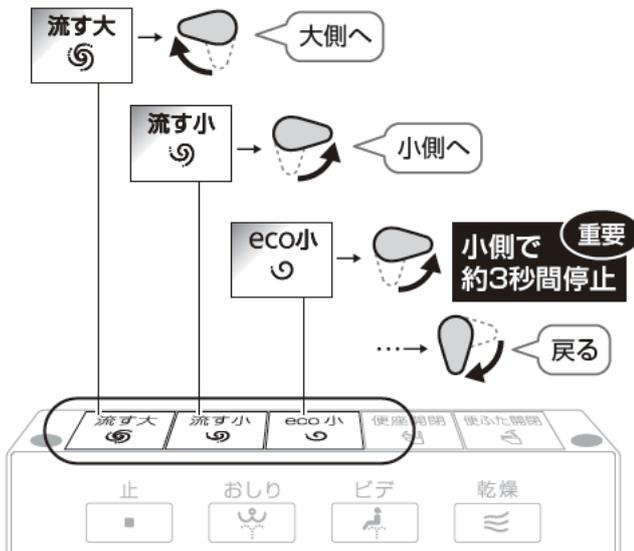
流すボタンが取り付けられているか
▶流すボタン取付説明書



作動確認

【確認のポイント】

- 「大」・「小」・「eco小」のボタンを押して、それぞれの洗浄が正常に行われるか
- ※連続して押すと作動しません。
約10秒たってから、もう一度ボタンを押してください。



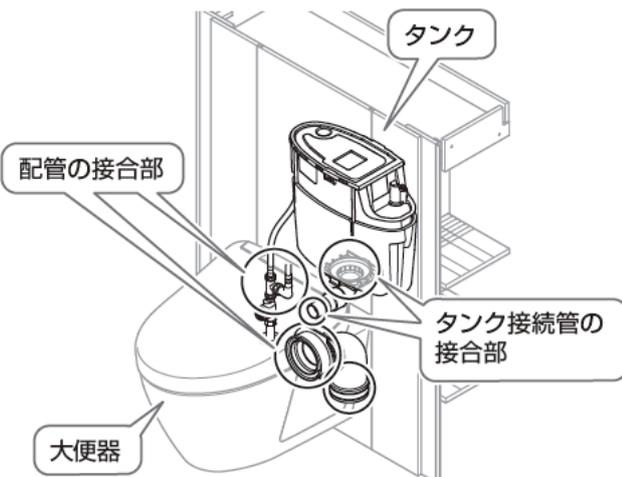
※機種によってデザインなどが異なります。

試運転完了後、「運転入/切」が、「入」になっていることを確認する（「運転ランプ」点灯）

「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んででもウォシュレットは作動しません。
※お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」を切らないでください。

3 大便器・配管類の水漏れ確認

2~3度洗浄させて、水漏れなどが無いことを確認する



必ず実施してください

4 水位確認

正常な状態

設定変更不要です。



設定を行うと、洗浄不良になる場合があります。

水たまり面が低い

設定変更してください。

▶P.47
たまり面が低い場合の対応方法



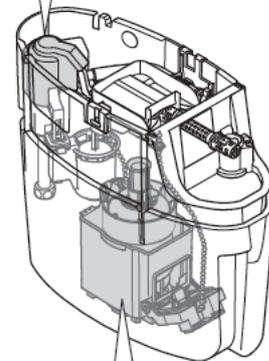
汚物付着の原因になります。
(水たまり面 低下の理由)
・排水管に曲がりが多い
・通気が不十分

〈水たまり面の判断に迷ったときは…〉

ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、水たまり面が上昇しない場合は正常です。

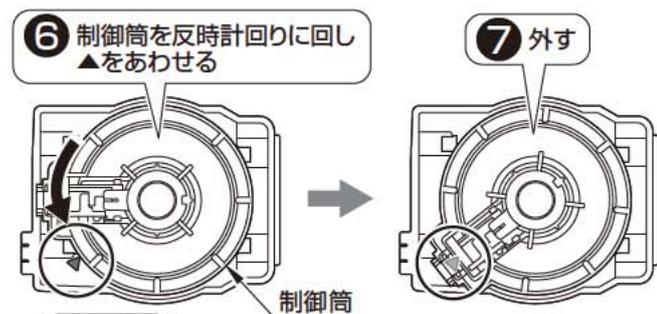
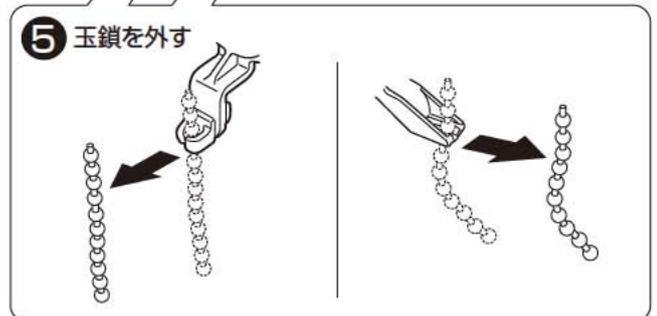
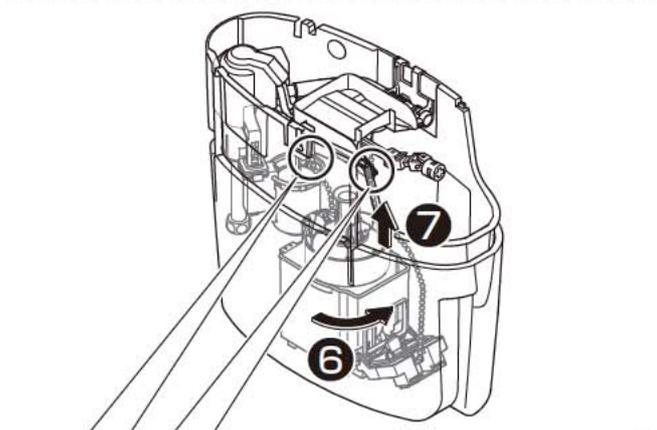
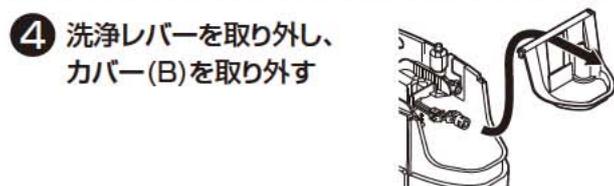
タンク内を調整する際のご注意

漏水防止カバーを外さない



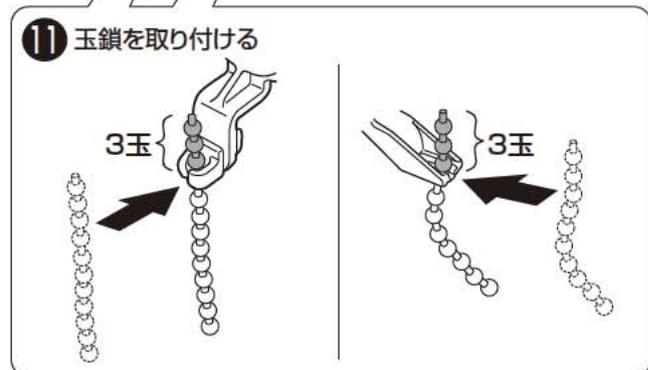
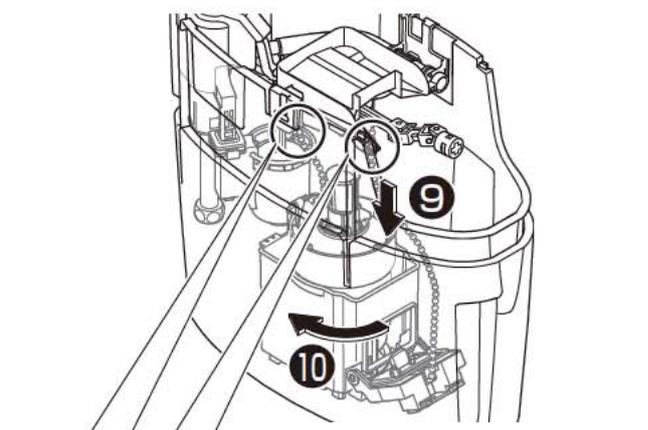
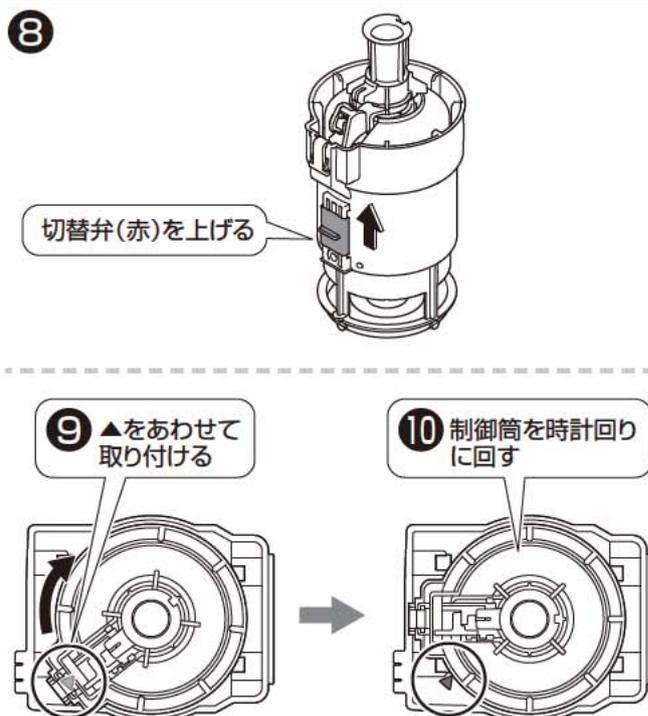
制御筒に力を加えない
排水弁が浮いて、水が流れっぱなしになるおそれがあります。

水たまり面が低い場合の対応方法

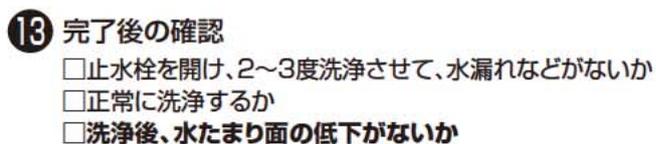
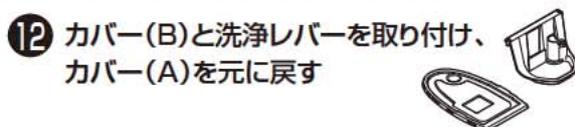


注意

制御筒の取り外し時に樹脂タンクに傷を
付けないこと



正しく取り付けないと止水不良になります。



自治体によって洗浄水量の規制がある場合

【変更前】		大洗浄	6L
大洗浄	4.8L	小洗浄	4.8L
小洗浄	3.6L	eco小洗浄	4.6L
eco小洗浄	3.4L	大洗浄	8L
		小洗浄	7.5L
		eco小洗浄	7L

変更
できます。

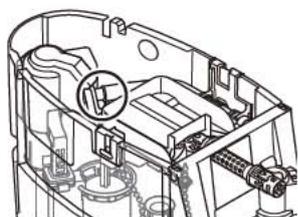
大洗浄6L、小洗浄4.8L、eco小洗浄4.6L仕様への切替方法

①～③

▶P.47右 水たまり面が低い場合の対応方法 の

①～③を実施

④

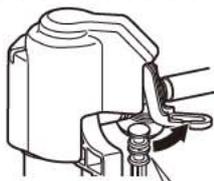


浮玉を外す

⑤

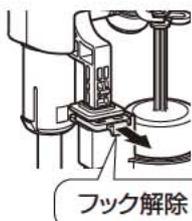
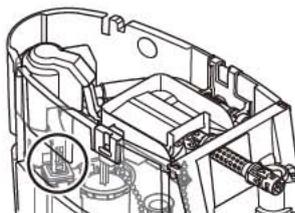


位置を間違えると
給水しない、もしくは
給水が止まらないことがあります。



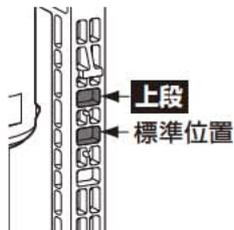
下段の凹部を取り付ける

⑥

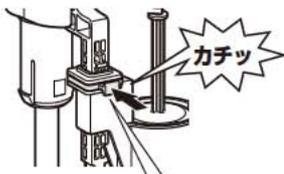


フック解除

⑦



位置を間違えると給水しない、もしくは給水が止まらないことがあります。



上段にフックを差し込む

⑧

カバー(A)を元に戻す



⑨

完了後の確認

- 止水栓を開け、2～3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- 正常に洗浄するか
- 洗浄後、水たまり面の低下がないか

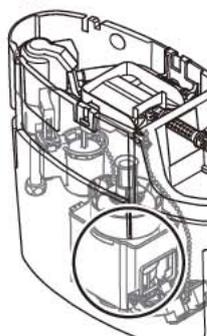
大洗浄8L、小洗浄7.5L、eco小洗浄7L への切替方法

①～⑦

▶P.48左 大洗浄6L、小洗浄4.8L、eco小洗浄4.6L の

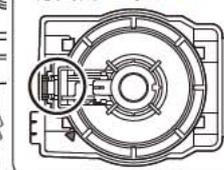
①～⑦を実施

⑧



先の長いマイナスドライバー
を差し込む

切替弁を下げる



切替弁を下げられなかった場合

▶P.47右 水たまり面が低い場合の対応方法 の

①～③を実施

⑨

カバー(A)を元に戻す



⑩

完了後の確認

- 止水栓を開け、2～3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- 正常に洗浄するか
- 洗浄後、水たまり面の低下がないか

5

やわらかフロアライトの動作確認

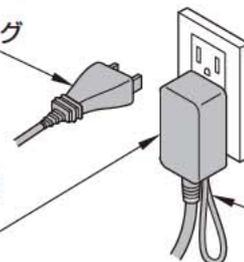
①

電源プラグを差し込む

照明用電源プラグ

ウォシュレット用
電源プラグ

アース線



②

点灯確認

トイレドアを開けて入室して一歩以内でやわらかフロアライトが点灯することを確認する
(確認は、トイレ外に出てトイレドアを閉め、約100秒以上経過した後の入室で実施)

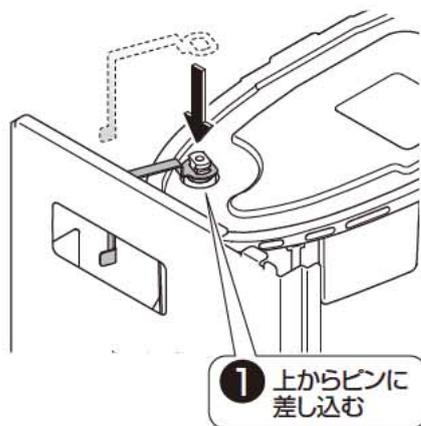
【点灯しないとき】

部材の接続を再度確認してください。

・照明部材の取り付け▶P.31

・マイクロ波センサーの取り付け▶P.40

13. 流動レバー 寒冷地の場合



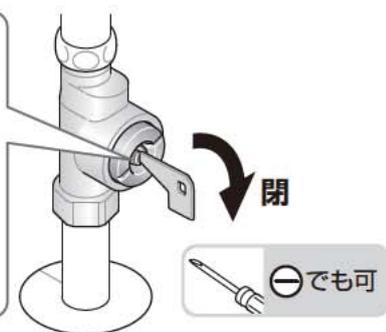
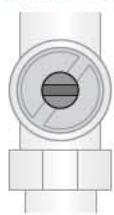
3 作動確認

- 流動レバーを手前に回し、水を流す。
- 作動確認後、流動レバーを奥壁側に回し、閉まることを確認する。
- 確認後、止水栓を閉める。

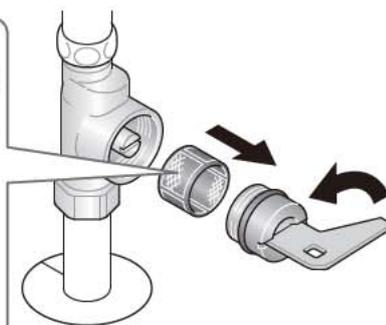
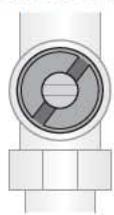
14. 給水フィルターの清掃

必ず実施してください

1 止水栓を閉める ※内側だけを回す



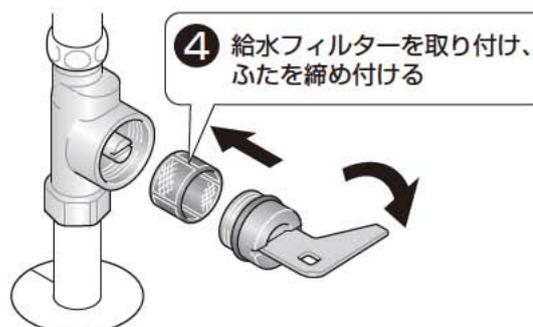
2 ふたを開け、 給水フィルターを 取り外す ※外側だけを回す



3 給水フィルターの清掃



4 給水フィルターを取り付け、 ふたを締め付ける

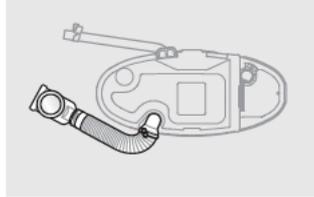


※ 止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。

15-1. 天板 【手洗器あり】

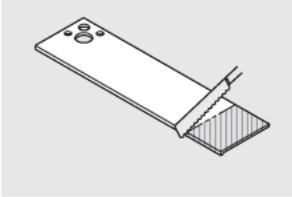
「手洗器なし」の場合は、P.53を参照してください。

1 排水セットの取り付け



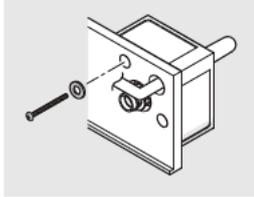
▶P.50

2 天板の加工



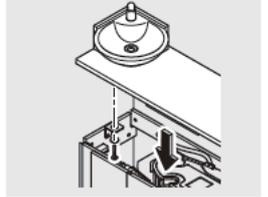
▶P.50

3 手洗器の取り付け



▶P.51

4 天板の取り付け

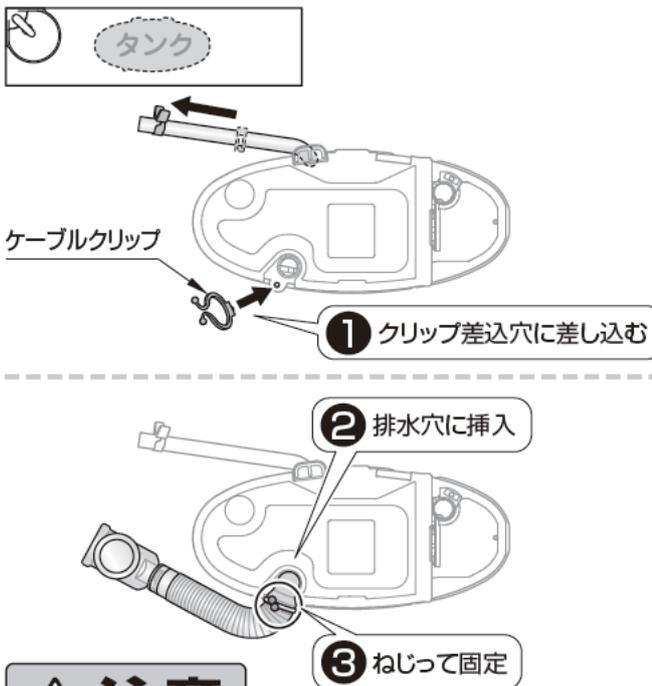


▶P.52

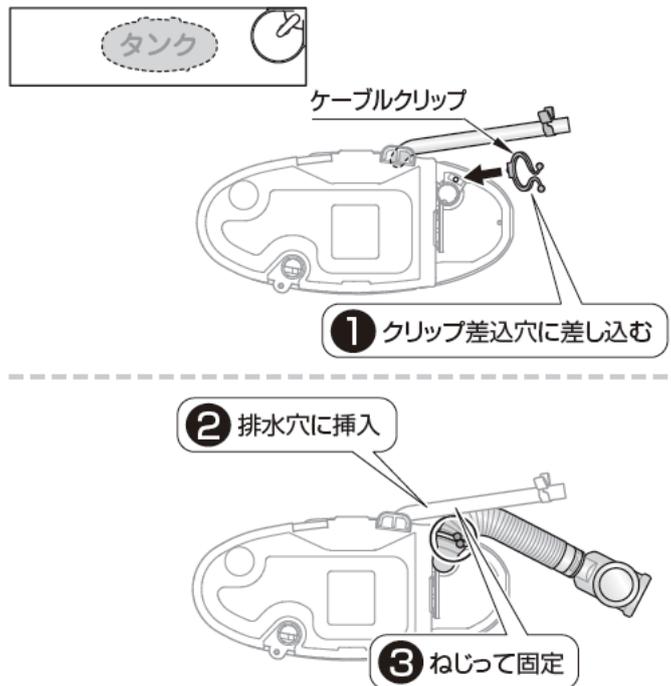
1 排水セットの取り付け

左右勝手違いで、使用する穴位置が異なります。

左勝手の場合



右勝手の場合



⚠ 注意



ケーブルクリップを必ず付ける

必ず守る

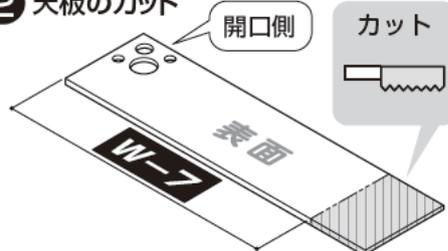
ジャバラホースが外れ、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

2 天板の加工

① W寸法測定



② 天板のカット



ポイント

チッピングに注意!

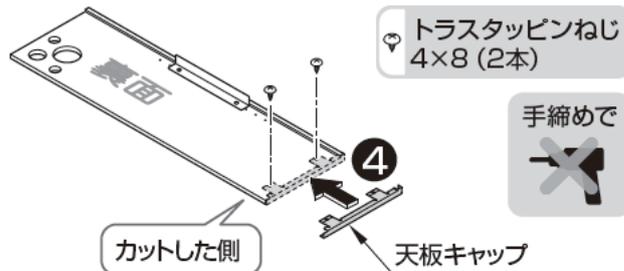
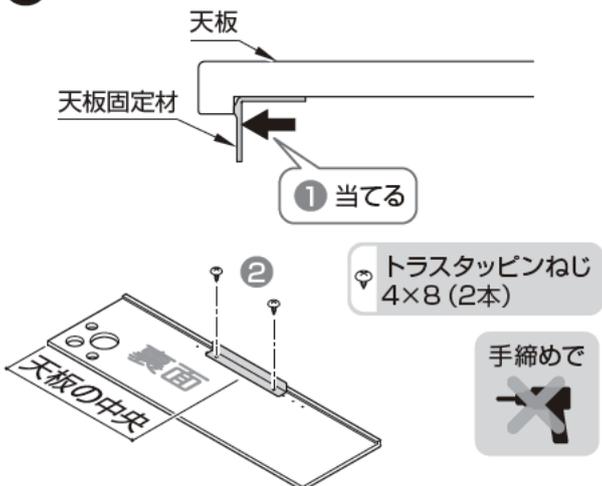


のこぎりの場合は
表面からカット

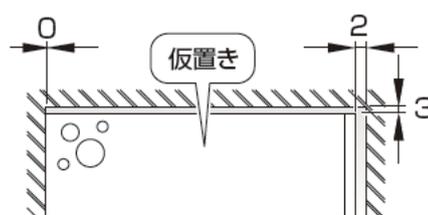


丸のこの場合は
裏面からカット

③ 天板固定材の取り付け



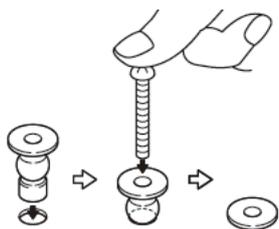
⑤ 調整



3 手洗器の取り付け

ポイント

取付ねじで押す



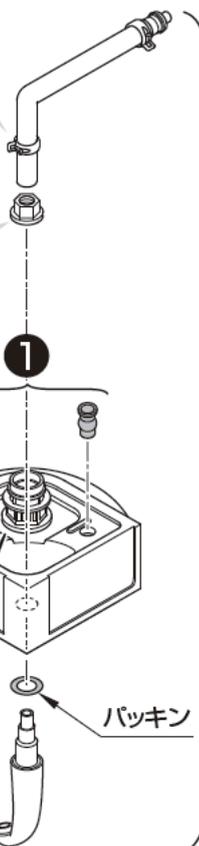
ラジオペンチ



TZ工具



別売品
品番: TZY15N
または
TZ15L



注意

排水金具を持たない

注意



給水ホースはスパウトの根元までしっかり差し込む水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

必ず守る

ポイント

取付向き注意



ワッシャー大

回らなくなるまで
締め付ける

手締めで

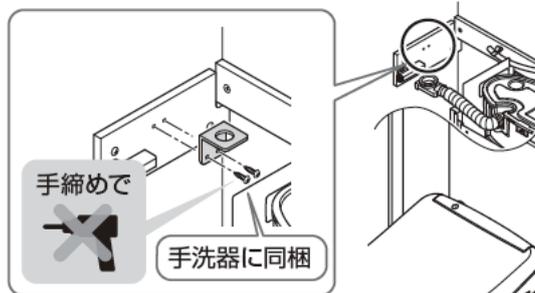


トラス小ねじ
M5×54 (1本)

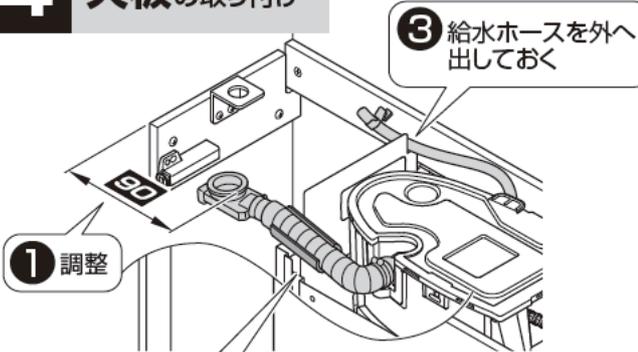
【手洗器ありの場合】

④ L型金具取り付け

トラスタッピンねじ
4×10 (2本)

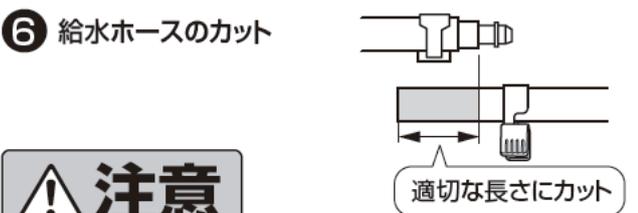
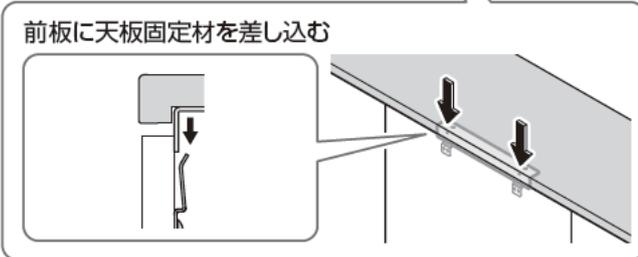
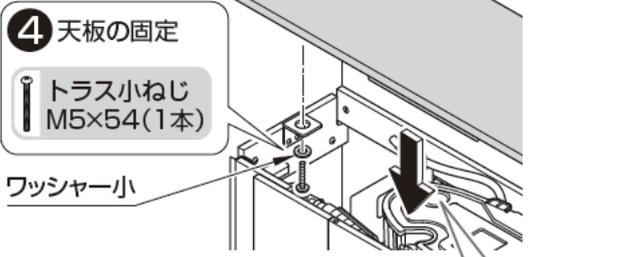


4 天板の取り付け



2 排水管カバーをはめる **逆勾配注意**

ポイント
間口にあわせて1~2個使用する

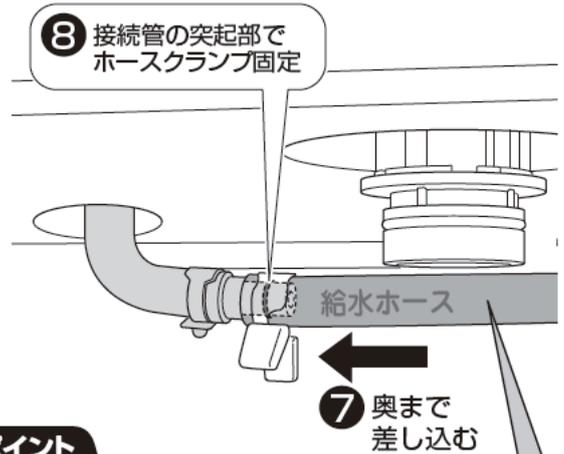


注意

必ず守る

- ・切断面が垂直になるようにカットする
- ・接続後、確実に固定されていることを確認する

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



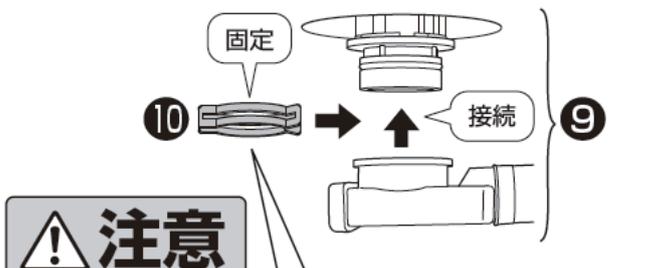
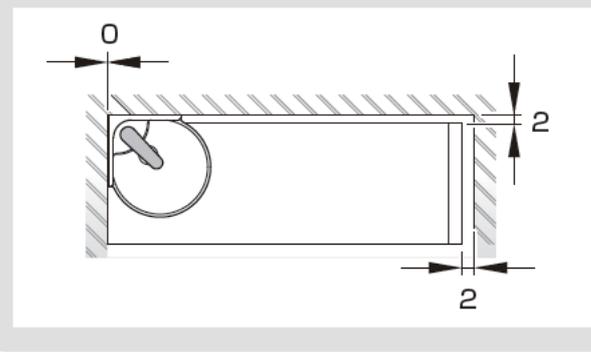
ポイント

給水ホースがたるまないようにする

水抜方式の場合は必ず実施する

【タンクからの給水ホースが長い場合】
手洗器給水ホース接続部の接続代を確保してカットし、給水ホースがたるまないようにする

仕上げ状態 (目安)



注意

必ず守る

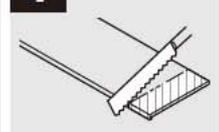
- ・クイックファスナーの全周にツバが掛かっていることを確認する
- ・クイックファスナーがスムーズに1回転することを確認する

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

15-2. 天板【手洗器なし】

「手洗器あり」の場合は、
P.50を参照してください。

1 天板の加工



▶P.53

2 天板の取り付け



▶P.53

3 ダンパーの取り付け



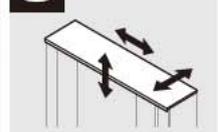
▶P.53

4 タンク上収納 底板の取り付け



▶P.54

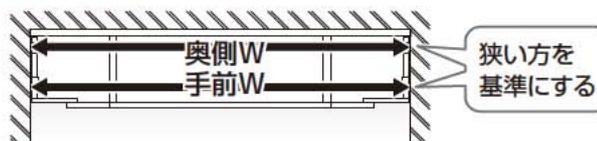
5 天板の調整



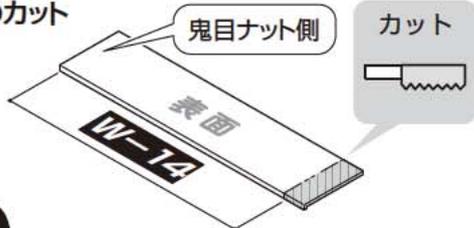
▶P.54

1 天板の加工

① W寸法測定



② 天板のカット

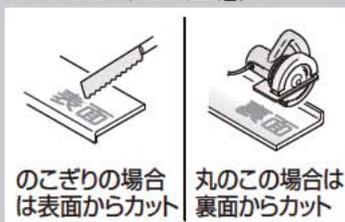


ポイント

鬼目ナット側は
カットしない

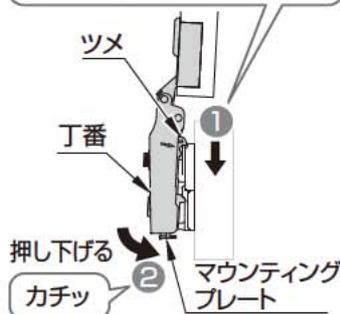


チッピングに注意!



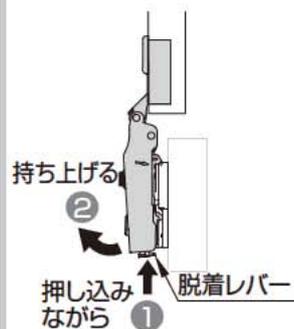
取り付けかた

マウンティングプレート先端
にツメを引っ掛ける



丁番本体がきちんと
マウンティングプレートに
装着されているか確認する

取り外しかた



③ 調整

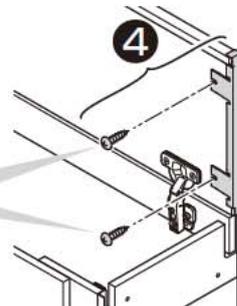


トラスタッピンねじ
4×8 (左右計4本)

手締めで



④



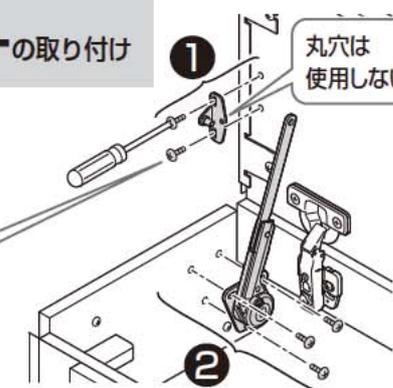
3 ダンパーの取り付け

①

丸穴は
使用しない

トラス小ねじ
M4×8 (5本)

固定後ゆるみがないか確認



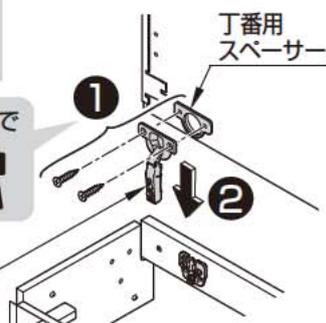
2 天板の取り付け

皿タッピンねじ
3.5×14
(左右計4本)

手締めで



スライド丁番



トラス小ねじ
M4×5 (1本)

軸に穴をはめ込み固定

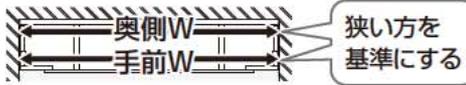
【軸に穴があわない場合】
小ねじをゆるめて位置を調整する

3

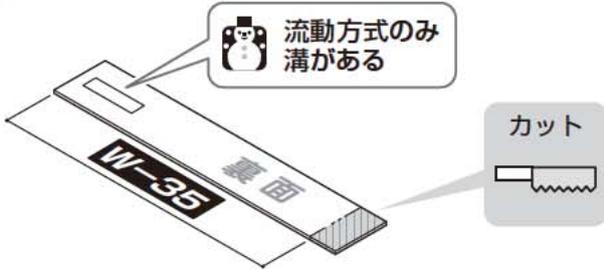
ねじ長さ5mm

4 タンク上収納底板の取り付け

1 W寸法測定



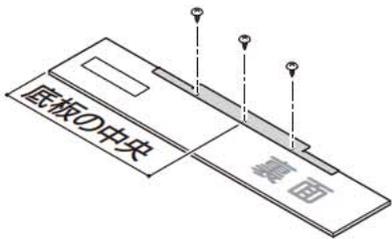
2 タンク上収納底板のカット



3 底板支持材の取り付け

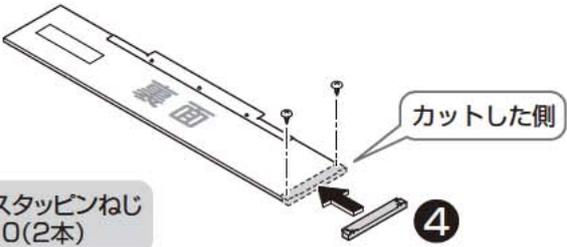
トラスタッピンねじ
4×10(3本)

手締めで

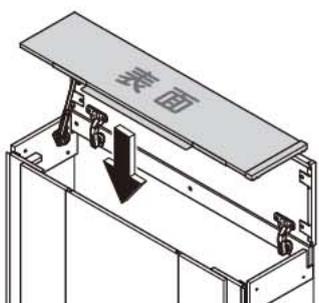


トラスタッピンねじ
4×10(2本)

4



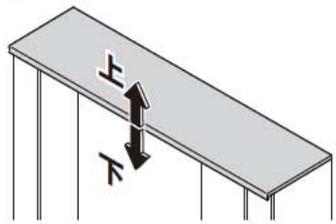
5 タンク上収納底板の取り付け



5 天板の調整

位置調整

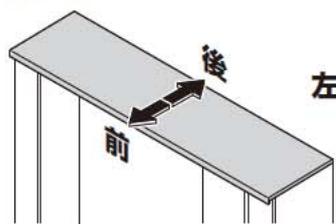
【上下】



左回し(上)

右回し(下)

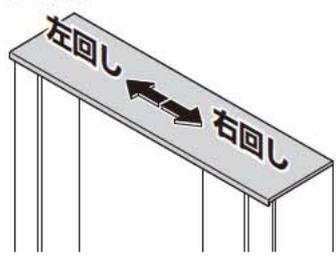
【前後】



左回し(後)

右回し(前)

【左右】



左回し

右回し

閉まり速度調整

⊕ φ5以下

ゆるみがある場合、
増し締めして、
しっかり固定する

速く閉まる

ゆっくり閉まる

⚠ 注意

禁止

調整時に弱めすぎない
天板が速く閉まり、けがの原因となります。

分解、改造をしない
器具が破損し、けがの原因となります。

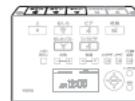
※速度調節部は、限度以上に回さないでください。
※温度によりダンパーの作用速度が変わることがありますが、故障ではありません。

【お引渡し前に】
天板の調整を必ず行ってください。

16.リモコン

- 1** リモコンの取り付け
▶ウオシュレット施工説明書

- 2** リモコンの作動確認
▶P.46 **2**「便器洗浄の確認」 **リモコン**



17.仕上げ

- 1** クッションの張り付け



▶P.55

- 2** 扉の本固定



▶P.55

- 3** 引き出しラックの設置



▶P.56

- 1** クッションの張り付け

ポイント

張付面は水ぶきし、乾燥後張り付ける

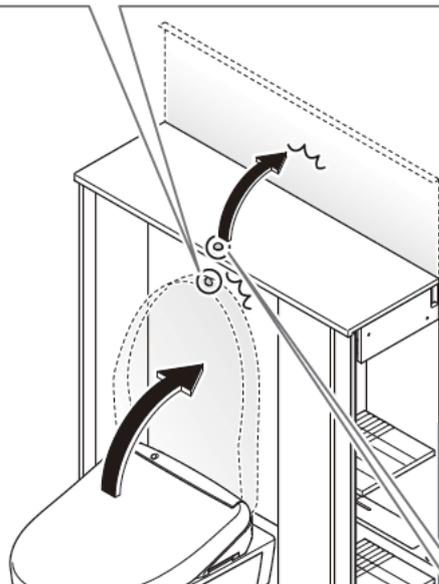
【手洗器なしタイプ】前板
【手洗器ありタイプ】天板前面

当たることを確認



「ウオシュレット」に同梱
クッション

前板



天板を開けた時、壁などと当たる場合は張り付ける

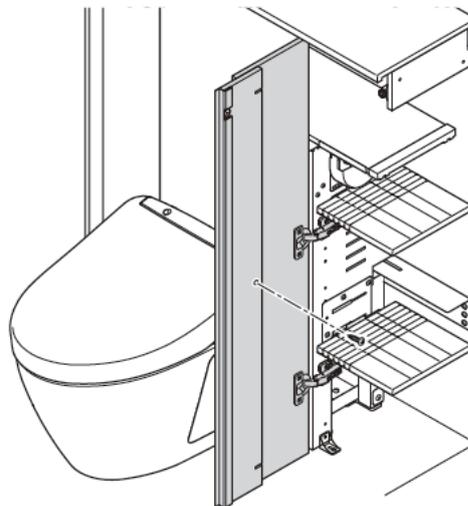


「施工説明書」に同梱
クッション

※お使いにならない場合は、取扱説明書
と一緒にお客様に渡してください。

- 2** 扉の本固定

トラスタッピンねじ
4×20 (1本)

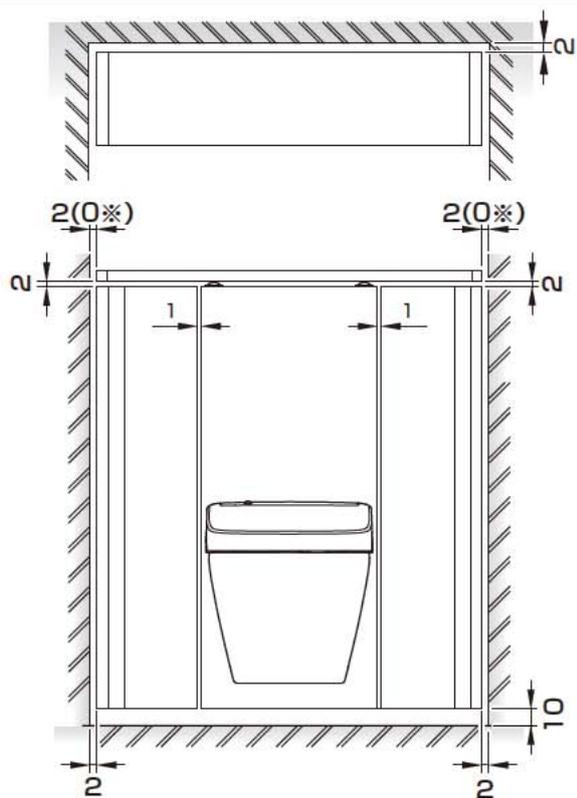


手締めで



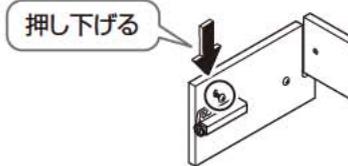
- 扉の調整 ▶P.44
- 天板の調整
手洗器なしの場合 ▶P.54

仕上げ状態 (目安)

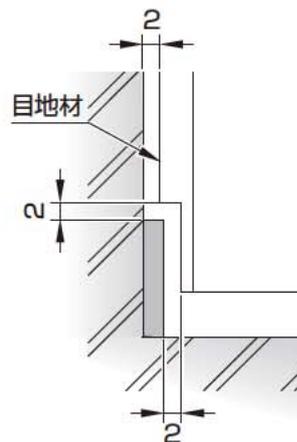


※手洗器ありの場合の手洗器側

【天板と壁側板が当たり2mmにならない場合】
ねじをゆるめて押し下げる

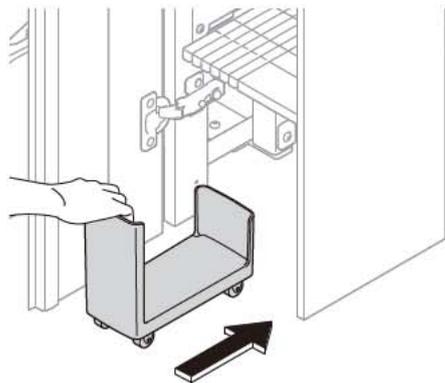


【幅木がある場合】



3 引き出しラック

大便器キャビネットの中に収納する



MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

引渡し前の点検

お引渡し前に、必ず確認してください。

- 大便器や手洗器、配管類から水漏れなどありませんか？ ▶P.46
- フィルター付止水栓のフィルターは清掃しましたか？ ▶P.49
- 扉の目地材と壁が接触していませんか？ ▶P.43
- 扉の丁番はスムーズに開きますか？ ▶P.44
- やわらかフロアライトは正しく動作していますか？ ▶P.48
- 以下の箇所にゆるみ・ガタはありませんか？
- 陶器表面に傷などありませんか？

